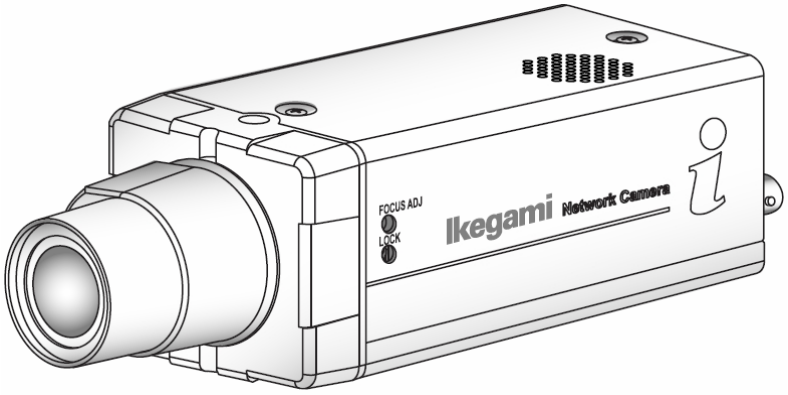
取扱説明書（応用編）

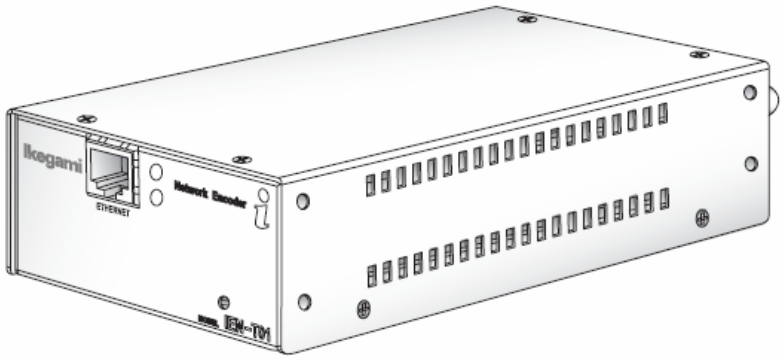
ネットワークカメラ

IPD-Q01

ネットワークエンコーダ

IEN-T01





ご使用前に本取扱説明書をよく読んで、正しくお使いください。

目次

はじめに 1

ネットワークカメラ／エンコーダに接続する 3

ネットワークカメラ／エンコーダとPCを接続する 3
INTERNET EXPLORERで接続する 5

基本的な設定 7

画面構成 7
設定の流れ 9
ヘルプを表示する 10
ネットワークを設定する 11
時刻を合わせる 12
管理者の登録情報を変更する 13
操作者を登録する 14
カメラの設定を変更する 15

設置する 17

既存のLANに設置する 17
インターネット越しに設置する 19

監視する 22

画面構成 22
映像を見る 24
音声を聴く／送る 26
配信する映像を制御する 27
ネットワークエンコーダに接続したカメラを操作する（ZPC） 28
ネットワークエンコーダに接続したカメラを操作する（PCS） 30
ネットワークエンコーダに接続したカメラを操作する（ZPC、PCS） 34

アラーム機能を使用する 35

アラームの設定を変更する 35
アラーム映像をネットワークカメラ／エンコーダの内蔵メモリに記録する 36
動き検出機能を設定する 38
アラームをメールで知らせる 43

録画／再生する 45

アラーム映像をPCにダウンロードする（「管理者」のみ） 45
配信中の映像をPCに録画する 46

写真を撮る 48
再生する 48

その他の設定 53

レコーダを登録する 53
時刻のずれを自動的に調整する 54
映像の一部を隠す 55
映像の走査方式を変更する 58
シリアル通信の設定を変更する（ネットワークエンコーダのみ） 59

メンテナンスする 60

画面構成 60
ログを表示／保存する 61
設定をPCに保存する 64
PCに保存した設定を復元する 65
データを初期化する 67
ファームウェアをバージョンアップする 68
再起動する 72
状態を表示する 73
機種の情報を表示する 74

困ったときは？ 75

用語集 77

索引 82

仕様 85

ネットワークカメラ IPD-Q01 85
ネットワークエンコーダ IEN-T01 87

外観図 88

IPD-Q01 88
IEN-T01 89

はじめに

特徴

このたびは、Ikegami ネットワークカメラ IPD－Q01／ネットワークエンコーダ IEN－T01 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本製品は、以下のような特徴を有しています。

- JPEG 2000 を採用

  画像圧縮方式に JPEG 2000 を採用することにより、高圧縮でも高画質な映像をご覧いただけます。

- スケーラブルな映像配信

  JPEG 2000 では一つの画像から様々なサイズ（１／１、１／４、１／１６）、圧縮率（５段階）、フレームレート（７種類）の組み合わせで画像を取り出すことができ、それぞれの要求にあわせた映像を同時に複数の機器に配信できます。

  例えば、機器 A にはサイズ（１／１）、圧縮率（高画質）、フレームレート（30fps）の映像を、機器 B にはサイズ（１／１６）、圧縮率（低画質）、フレームレート（1fps）の映像を１つのネットワークカメラ／エンコーダから同時に配信できます。

- HTTP による映像配信

  本製品では、映像を HTTP で配信しています。そのため、他社のネットワークカメラ／エンコーダで必要な、ファイアウォールの設定を変更する必要がほとんどありません。

- Web サーバ搭載

本製品は、Web サーバを搭載しているため、PC から Internet Explorer で接続することにより、監視、設定、メンテナンスが手軽に行えるようになっています。

推奨動作環境

本製品の映像を表示したり、設定、メンテナンスを行うには、以下の条件にあう PC が必要になります。PC の性能が低い場合、配信映像の表示や録画した映像の再生スピードが遅くなる場合があります。

- Microsoft Windows XP
- Internet Explorer 6.0
- Intel Pentium 4 2.0GHz 以上
- メモリ 256MB 以上（512MB 以上推奨）

用語について

本取扱説明書では、マウスの左ボタンを押すことを、「左クリック」または単に「クリック」と表記します。マウスの右ボタンを押すことは「右クリック」と表記します。

また、マウスの左ボタンを押したまま、マウスを動かすことを、「左ドラッグ」または単に「ドラッグ」と表記します。右ボタンを押したまま、マウスを動かすことは、「右ドラッグ」と表記します。

Microsoft Windows XP がインストールされたパーソナルコンピュータを「PC」と表記します。

この他の用語につきましては、本取扱説明書の最後に用語集を添付していますので、ご覧ください。また、わからない単語は、インターネットの検索サイトなどを使用して調べることができます。

Microsoft、Windows、Internet Explorer、ActiveX、Excel、DirectX は、Microsoft Corporation の登録商標です。
Intel および Pentium は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
その他記載の会社名・商標名などは、各会社の商標または登録商標です。
なお、本文中では®、™は省略しています。

また、本取扱説明書では、Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

ネットワークカメラ／エンコーダに接続する

ネットワークカメラ／エンコーダを設置する前に、お使いのネットワーク環境に合わせてネットワークの設定を変更する必要があります。

設定を初期値から変更するには、まず、ネットワークカメラ／エンコーダと PC をクロスケーブルまたは HUB を使って接続する必要があります。

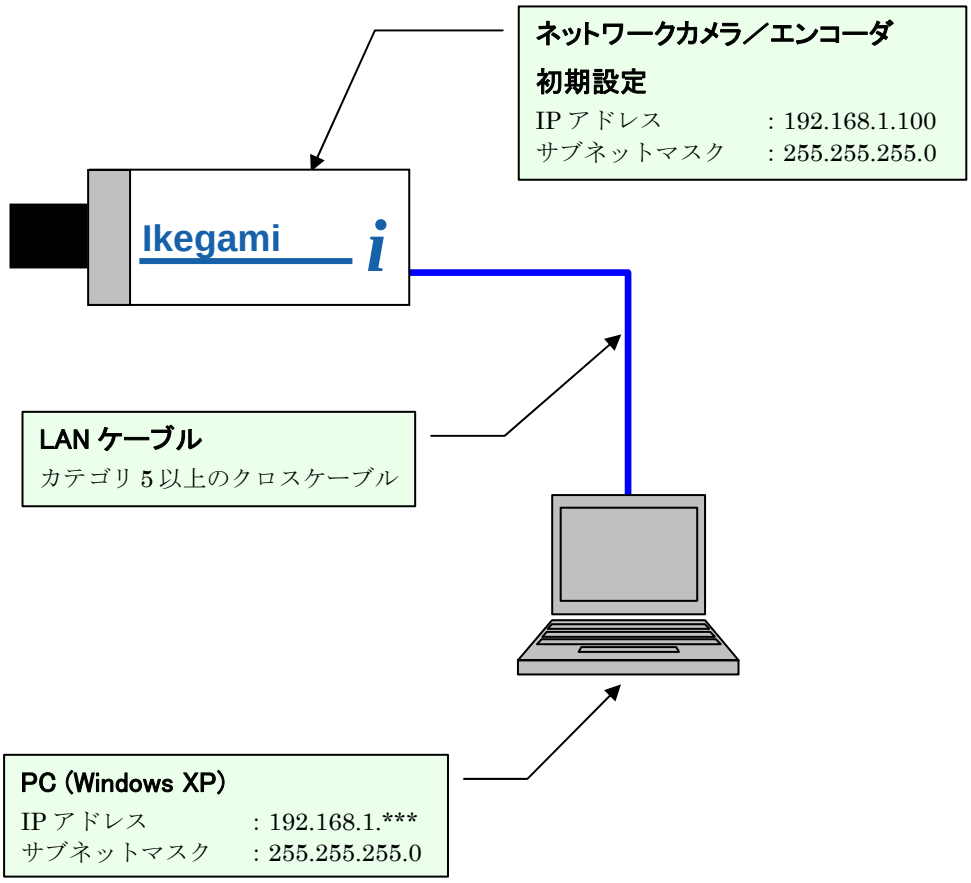
ネットワークカメラ／エンコーダと PC を接続する

PCの設定

ネットワークカメラ／エンコーダと接続する前に、PC のネットワークの設定を変更する必要があります。PC の設定方法は、本ネットワークカメラ／エンコーダに付属している取扱説明書（導入編）の「PC を設定する（P.6）」をご覧ください。

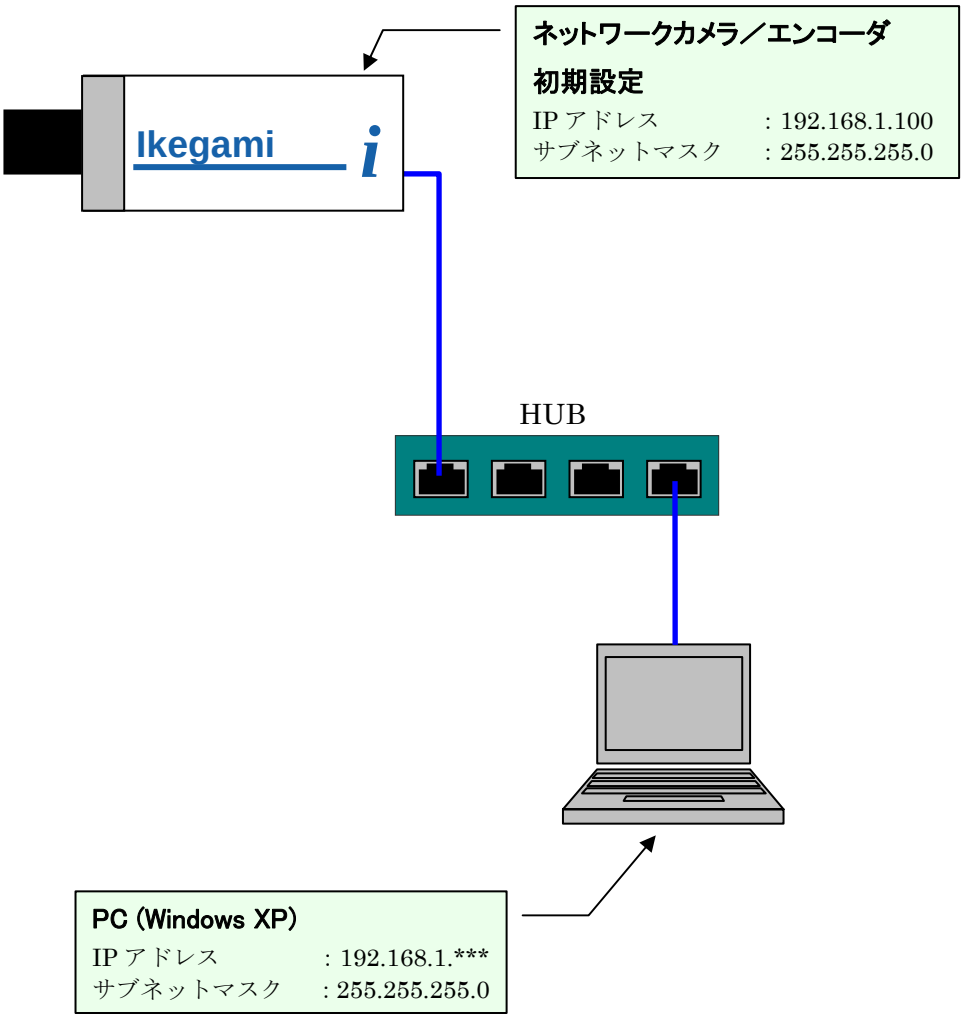
クロスケーブルで直接接続する

LAN ケーブルを使って、ネットワークカメラと PC を直接接続する方法です。**直接接続する場合は、必ずカテゴリ 5 以上のクロスケーブル**をご使用ください。



HUBで接続する場合

ネットワークカメラ／エンコーダと PC を HUB を介して接続する方法です。LAN ケーブルはカテゴリ 5 以上のストレートケーブルを使用します。

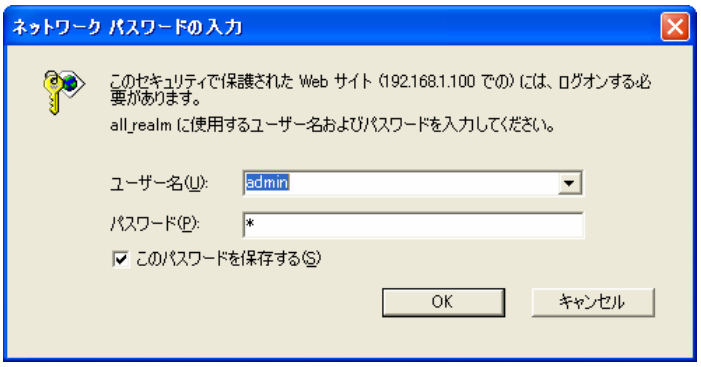


Internet Explorer で接続する

Internet Explorerのアドレスバーにネットワークカメラ／エンコーダのURLを入力します。**初期設定では、“http://192.168.1.100/”となります。**

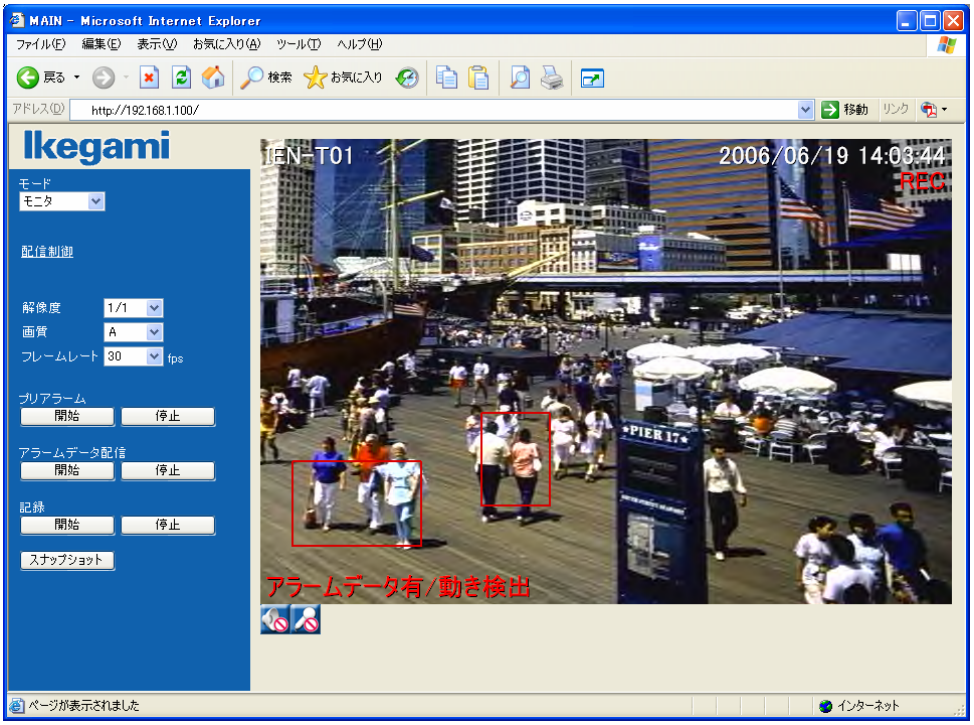
ポップアップウィンドウが開き、ユーザー名とパスワードを聞かれますので、「管理者」、または「操作者」のユーザー名とパスワードを入力し、OK をクリックします。

初期設定では、「管理者」のユーザー名が“admin”、パスワードが“1”です。「操作者」は登録されていません。



「管理者」はネットワークカメラ／エンコーダの設定の変更やメンテナンスができ、「操作者」は監視とカメラの操作（エンコーダの場合）のみできます。不特定多数の人が勝手に設定を変更しないように、必要なときだけ「管理者」で接続して、通常は「操作者」で接続することをお勧めします。

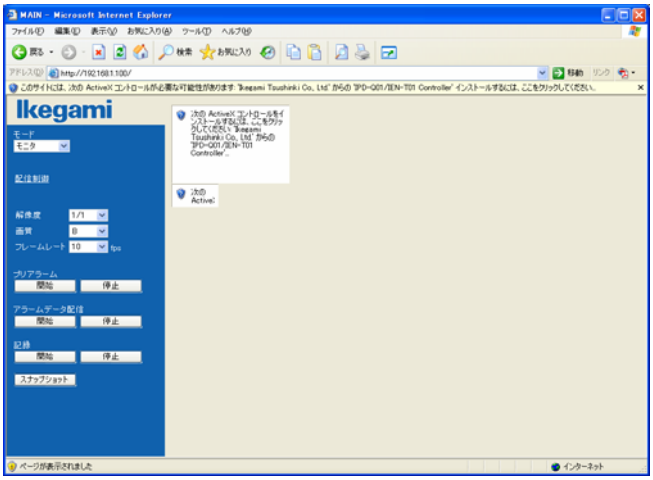
ユーザー名とパスワードが正しければ、監視画面が表示されます。



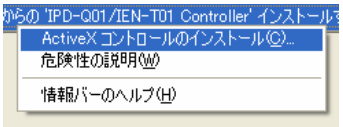
映像表示ActiveXをインストールする

初めてネットワークカメラ／エンコーダに接続する場合、PC に映像表示 ActiveX がインストールされていないため、映像が表示されません。

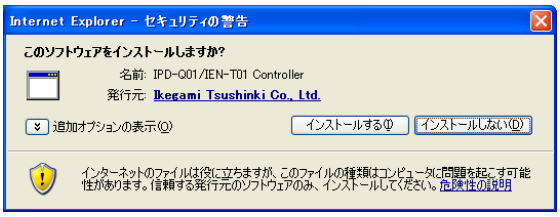
以下の画面は、Windows XP Service Pack 2 での画面です。Windows XP Service Pack 1 以前では、画面が異なります。



画面上部の黄色のバーをクリックして、ActiveX をインストールしてください。



「セキュリティの警告」ダイアログが表示されるので、インストールする(I) をクリックしてください。



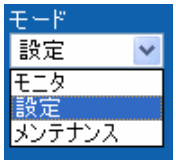
ActiveX のインストールが成功すると、ネットワークカメラ／エンコーダからの映像が表示されます。

基本的な設定

ネットワークカメラ／エンコーダを設置する前に、基本的な設定をします。

ネットワークカメラ／エンコーダの設定を変更するには、**管理者で接続する必要があります。初期設定では、管理者のユーザー名が“admin”、パスワードが“1”です。**

ネットワークカメラ／エンコーダの設定を変更するには、モードの“設定”を選択します。



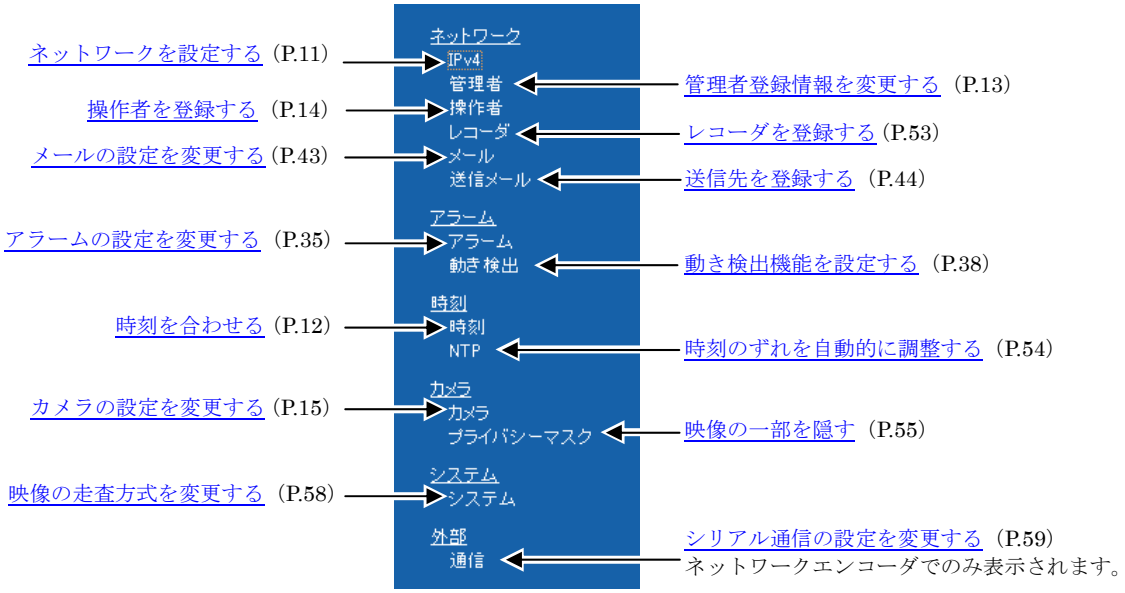
画面が切り替わり、設定メニューと設定タイトルが表示されます。

画面構成

設定画面は次のような構成になっています。

① 設定メニュー

設定項目を選びます。



② ヘルプ

ヘルプ機能の ON／OFF を切り替えます。

③ 設定入力エリア

設定値を入力します。

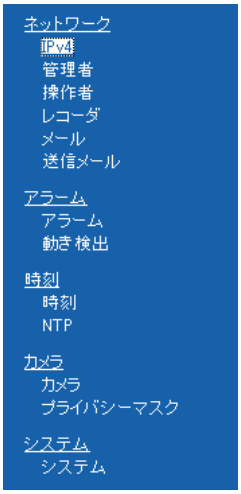
④ 保存／元に戻すボタン

保存　　：入力した値をカメラに保存します。

元に戻す　：入力エリアの値を画面が表示された時点の値に戻します。

設定の流れ

設定メニューの変更したい項目をクリックします。



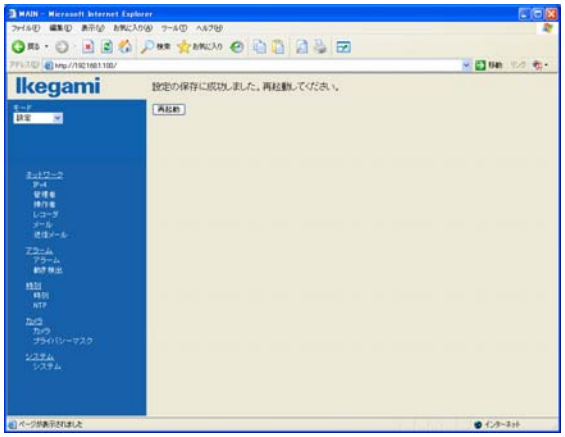
画面の右側に設定画面が表示されるので、設定値を適切に変更し、保存 をクリックします。画面を表示した時点の値に戻したいときは、元に戻す をクリックします。

確認のダイアログボックスが表示されます。保存してよければ OK をクリックします。

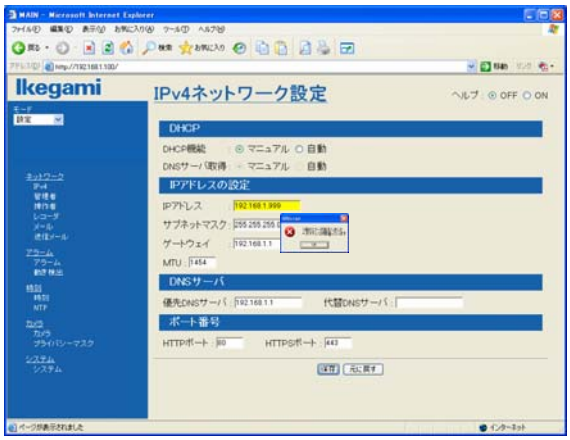
設定結果が表示されます。「設定の保存に成功しました。」というメッセージが表示されれば、無事、設定がネットワークカメラ／エンコーダに保存されています。

「動き検出設定」（P.38）、「プライバシーマスク設定」（P.55）で 保存 をクリックしなくても設定が反映されますが、ネットワークカメラ／エンコーダを再起動すると元に戻ってしまいま 保存 をクリックして、設定を保存してください。

設定によっては、「設定の保存に成功しました。再起動してください。」というメッセージと 再起動 が表示されます。この場合は、 再起動 をクリックしてネットワークカメラ／エンコーダを再起動してください。再起動するまで、設定内容は反映されません。



入力した設定値に誤りがある場合、 保存 をクリックするとエラーを知らせるダイアログボックスが表示され、誤りのある部分が黄色になります。そのときは、正しい設定値を入力しなおして、再度 保存 をクリックしてください。

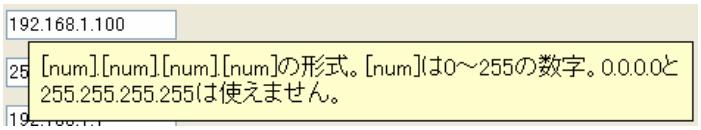


ヘルプを表示する

ヘルプ機能を使えば、入力欄に入力するべき値や、その項目のヒントを画面に表示できます。

ヘルプを表示するには、画面右上のヘルプを“ON”にします。

マウスカーソルを設定エリアの入力欄や項目の上にもっていくと、そのヘルプが表示されます。



一部の画面ではヘルプは表示されません。

ネットワークを設定する

ネットワークカメラ／エンコーダを LAN やインターネットに接続するためには、ネットワークの設定をする必要があります。ネットワークの設定は IPv4 設定画面で行います。設定メニューの「IPv4」をクリックしてください。

① DHCP機能

- マニュアル　：　③で指定した IP アドレスを割り当てます。
- 自動　：　DHCP サーバが自動で IP アドレスを割り当てます。

② DNS サーバ取得

- マニュアル　：　⑦で指定した DNS サーバを使用します。
- 自動　：　DHCP サーバが指定した DNS サーバを使用します。

③ IP アドレス

本機に割り当てるIPアドレスを入力します。複数のネットワークカメラ／エンコーダを接続する場合は、それぞれ重複しないように設定する必要があります。**初期設定は、“192.168.1.100”です。**

④ サブネットマスク¥

本機に割り当てるサブネットマスクを入力します。**初期設定は、“255.255.255.0”です。**

⑤ ゲートウェイ

ゲートウェイ（ルータ）のIPアドレスを入力します。**初期設定は、“192.168.1.1”です。**

⑥ MTU

MTUを設定します。576～1500 の値を入力します。**初期設定は、“1454”です。**

⑦ DNS サーバ

DNSサーバのIPアドレスを設定します。代替DNSサーバは指定しなくてもかまいません。**初期設定は、優先DNSサーバは“192.168.1.1”です。代替DNSサーバは設定されていません。**

⑧ ポート番号

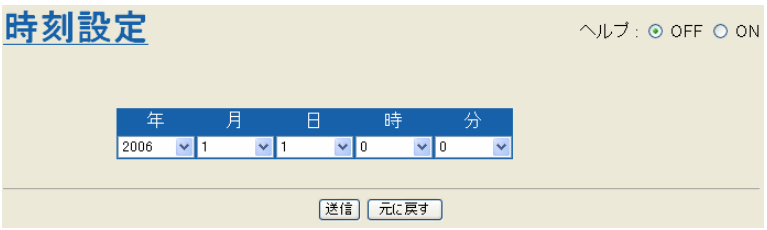
HTTPとHTTPS（SSL）のポート番号を設定します。**初期設定は、HTTPポートは“80”、HTTPSポートは“443”です。**

IP アドレス、サブネットマスクなどの設定値は、お客様のネットワーク環境によって異なります。ネットワーク管理者におたずねください。

IP アドレス、サブネットマスクを変更した場合は、そのままでは PC から接続できなくなる場合があります。PC のネットワークの設定をネットワークカメラ／エンコーダにあわせて変更してから、再び Internet Explorer で接続してください。

時刻を合わせる

ネットワークカメラ／エンコーダの時刻を合わせます。



年月日、時分をドロップダウンリストから選びます。 送信 をクリックすると、ネットワークカメラ／エンコーダの内蔵時計の時刻を合わせます。

管理者の登録情報を変更する

管理者の権限でネットワークカメラ／エンコーダに接続すると、設定を変更できます。

初期設定は、管理者のユーザー名が“admin”、パスワードが“1”です。

ネットワークカメラ／エンコーダを導入したら、これらの設定を変更して、不特定多数の人が設定を変更できないようにすることをお勧めします。

① ログイン名

管理者のログイン名を入力します。半角英数字で最大 16 文字まで入力できます。「"」、「'」、「&」、「<」、「>」は入力できません。

② パスワード

管理者のパスワードを入力します。半角英数字で最大 8 文字まで入力できます。「"」、「'」、「&」、「<」、「>」は入力できません。

③ パスワード（再入力）

確認のために、②のパスワードと同じものを入力します。

④ 表示言語選択

画面の表示言語を選択します。

操作者を登録する

操作者は映像の監視、カメラの操作ができます。設定の変更やメンテナンスはできません。設定を変更するときや、メンテナンスするときは管理者で接続する必要がありますが、通常の監視作業の場合には、操作者で接続することをお勧めします。

操作者は、最大 50 人登録できます。

① ログイン名

操作者のログイン名を入力します。半角英数字で最大 16 文字まで入力できます。「"」、「'」、「&」、「<」、「>」は入力できません。

② パスワード

操作者のパスワードを入力します。半角英数字で最大 8 文字まで入力できます。「"」、「'」、「&」、「<」、「>」は入力できません。

③ パスワード（再入力）

確認のために、②のパスワードと同じものを入力します。

④ 表示言語

画面の表示言語を選択します。

⑤ 動作

- 変更しない　：　この操作者の設定を変更しません。
- 登録　：　この操作者の設定を変更します。
- 削除　：　この操作者の設定を削除します。

カメラの設定を変更する

カメラの設定は、ネットワークカメラ／エンコーダで項目が異なります。

ネットワークカメラの場合

① 配信用設定

Web ブラウザで映像を監視するときに表示するタイトルを入力します。半角なら 16 文字、全角なら 8 文字まで入力できます。「"」は入力できません。

② モニタタイトル表示

ネットワークカメラをモニタに直接接続したときに、画面にタイトルを表示するかどうかを選択します。

③ タイトル

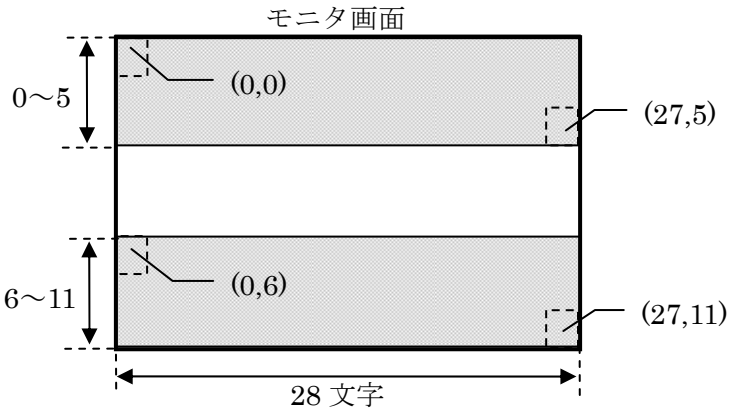
ネットワークカメラをモニタに直接接続したときに、画面に表示するタイトルを入力します。

入力できる文字に制限があります。半角英数字、スペース、「~」、「, 」、「. 」、「:」、「;」、「?」、「!」、「^」、「_」、「/」、「' 」、「″」、「(」、「)」、「[」、「]」、「{」、「}」、「+」、「−」、「=」、「<」、「>」、「¥」、「$」、「%」、「#」、「&」、「*」、「@」が入力できます。日本語は入力できません。文字数は最大 16 文字です。

④ 表示位置

ネットワークカメラをモニタに直接接続したときに、タイトルを表示する位置を入力します。水平表示位置は 0～27、垂直表示位置は 0～11 の値を入力できます。

タイトルは画面中央には表示されません。また、右端を越えた文字は表示されません。



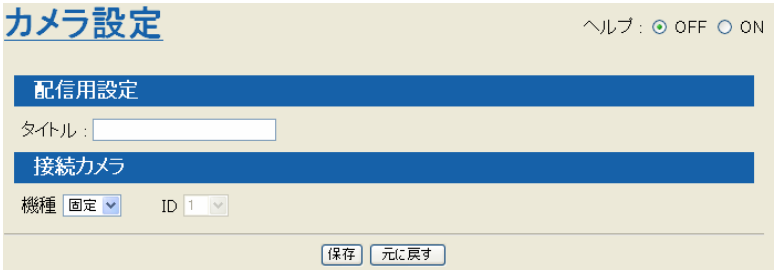
⑤ カメラ設定

カメラの機能を設定します。

“AGC”、“逆光補正”、“AES”、“フリッカレス” のON／OFFが設定できます。

オートアイリス機能付きのレンズを使用している場合、AESはOFFにしてください。

ネットワークエンコーダの場合



① タイトル

Web ブラウザで映像を監視するときに表示するタイトルを入力します。半角なら 16 文字、全角なら 8 文字まで入力できます。「"」は入力できません。

② 機種

エンコーダに接続したカメラの種別を設定します。

- 固定

  固定カメラを接続している場合

- ZPC

  弊社製ズームパンチルトコントローラ ZPC シリーズを接続している場合

- PCS

  弊社製コンビネーションカメラ PCS シリーズを接続している場合

③ ID

カメラ ID を設定します。接続しているカメラの ID に合わせて設定してください。

設置する

ネットワークカメラ／エンコーダの基本的な設定が終わったら、実際に監視する場所に設置してください。

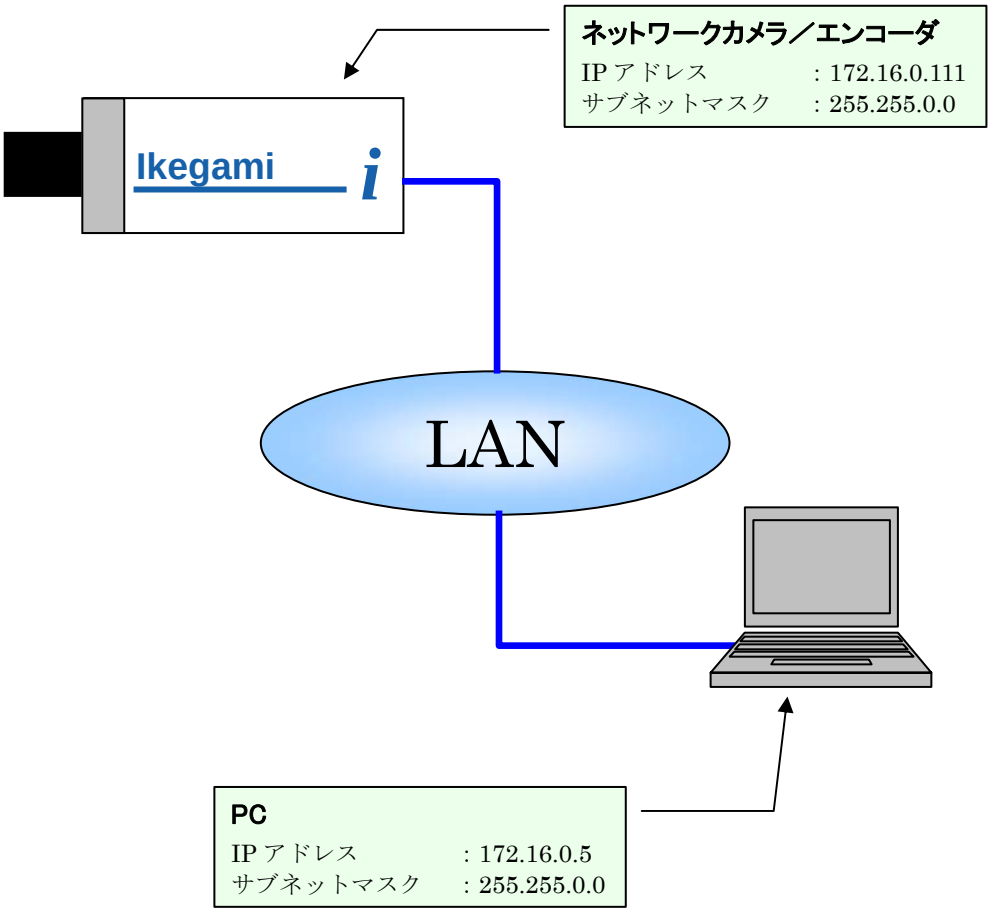
この章では、ネットワークカメラ／エンコーダの設置例をご紹介します。**この章に表記してある IP アドレス、サブネットマスクなどは設定例です**。実際には、設置するネットワークの環境に合わせて正しい値を設定してください。設定値は、ネットワーク管理者にお訊ねください。

LANやインターネットに接続する前に必ず、ネットワークカメラ／エンコーダとPCを接続して（「ネットワークカメラ／エンコーダに接続する」（P.3））、基本的な設定（「基本的な設定をする」（P.7））をしてください。

既存の LAN に設置する

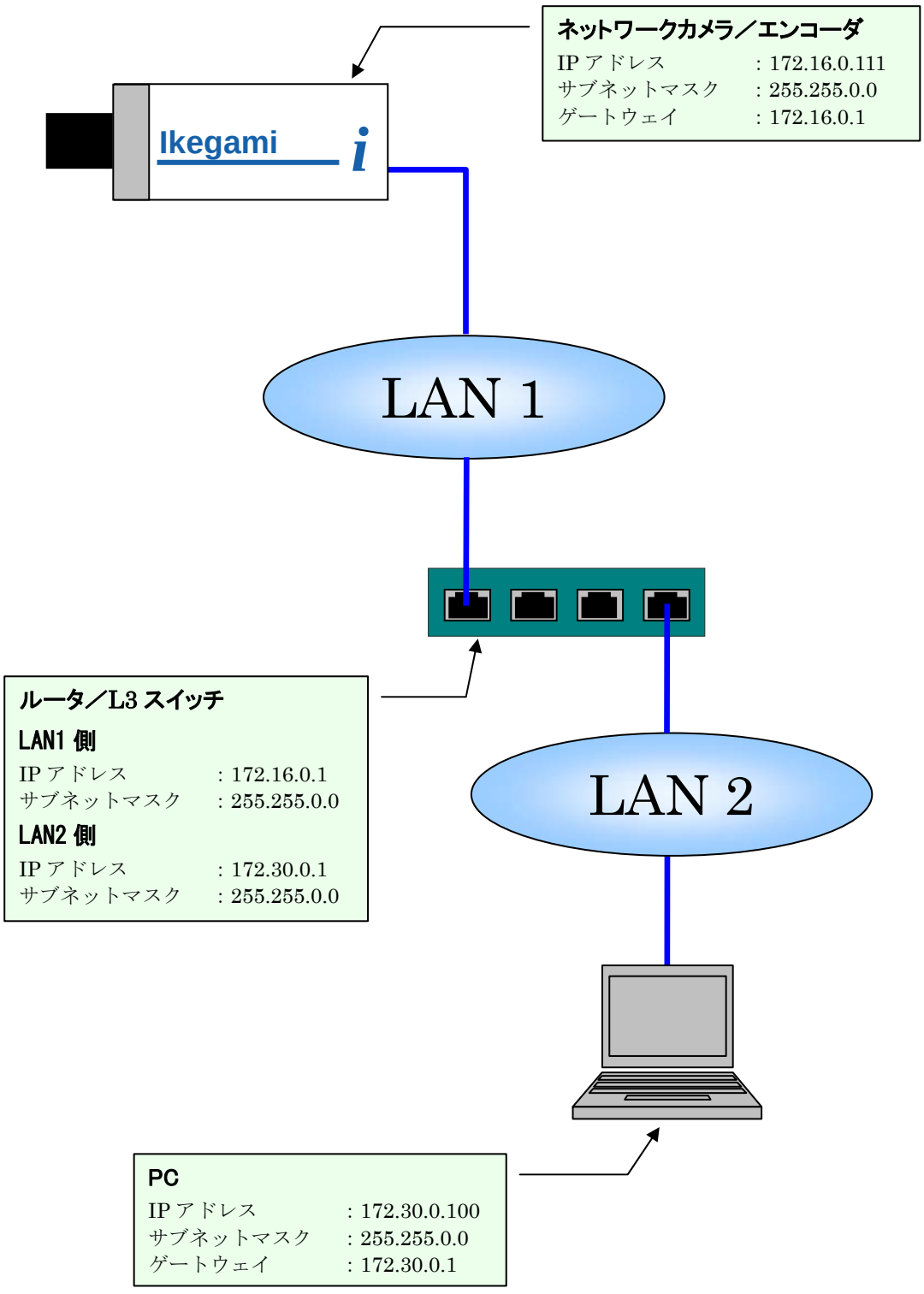
同じネットワーク内に設置する場合

同じネットワークに、ネットワークカメラ／エンコーダと PC を設置する場合の例です。IP アドレスとサブネットマスクを正しく設定してください。



異なるネットワーク間に設置する場合

PC と異なるネットワークに、ネットワークカメラ／エンコーダを設置する場合の例です。IP アドレスとサブネットマスク、ゲートウェイの IP アドレスを正しく設定してください。



インターネット越しに設置する

インターネットを介して遠隔地にネットワークカメラ／エンコーダを設置する例です。proxyを使っている場合、映像を表示できません。proxyを使わずにネットワークカメラ／エンコーダに接続できるように、ルータを設定してください。また、Internet Explorerもproxyを使わないように設定してください。

図で使用している IP アドレスは設定例です。実際には、ご使用のネットワーク環境にあわせて、正しい値を設定してください。 特に、**図で使用している IP アドレスでインターネットに接続しないでください。** 正しい設定値は、ネットワーク管理者およびご契約されている ISP（インターネットサービスプロバイダ）におたずねください。

ネットワークカメラ／エンコーダにプライベートIPアドレスを割り当てる場合

ネットワークカメラ／エンコーダにプライベートIPアドレスを割り当てる場合、ルータに下記の設定をする必要があります。

ポートフォワードの設定

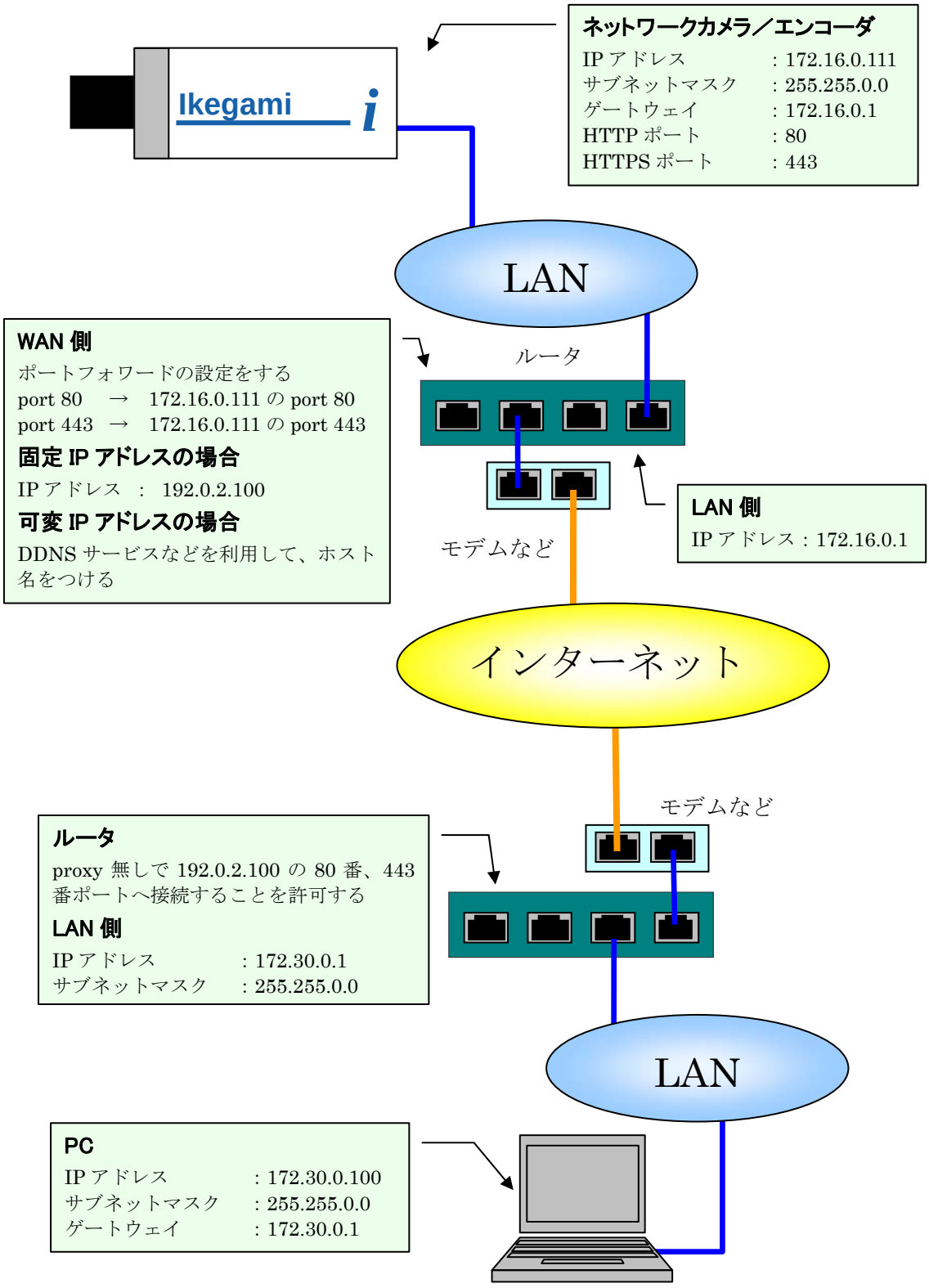
ネットワークカメラ／エンコーダ側のルータのポートフォワードの設定をする必要があります。

例えば、PC からネットワークカメラ／エンコーダ側のルータの 80 番（HTTP）ポートに接続すると、ネットワークカメラ／エンコーダの 80 番（HTTP）ポートに、443 番（HTTPS）ポート接続するネットワークカメラ／エンコーダの 443 番（HTTPS）ポートに転送するように設定します。

複数のネットワークカメラ／エンコーダを設置する場合は、ルータの 80 番ポートはネットワークカメラ A に、8000 番ポートはネットワークカメラ B に、8080 番ポートはネットワークエンコーダに……というように、異なるポートに接続すると、異なるネットワークカメラ／エンコーダに転送するように、ポートフォワードの設定をします。

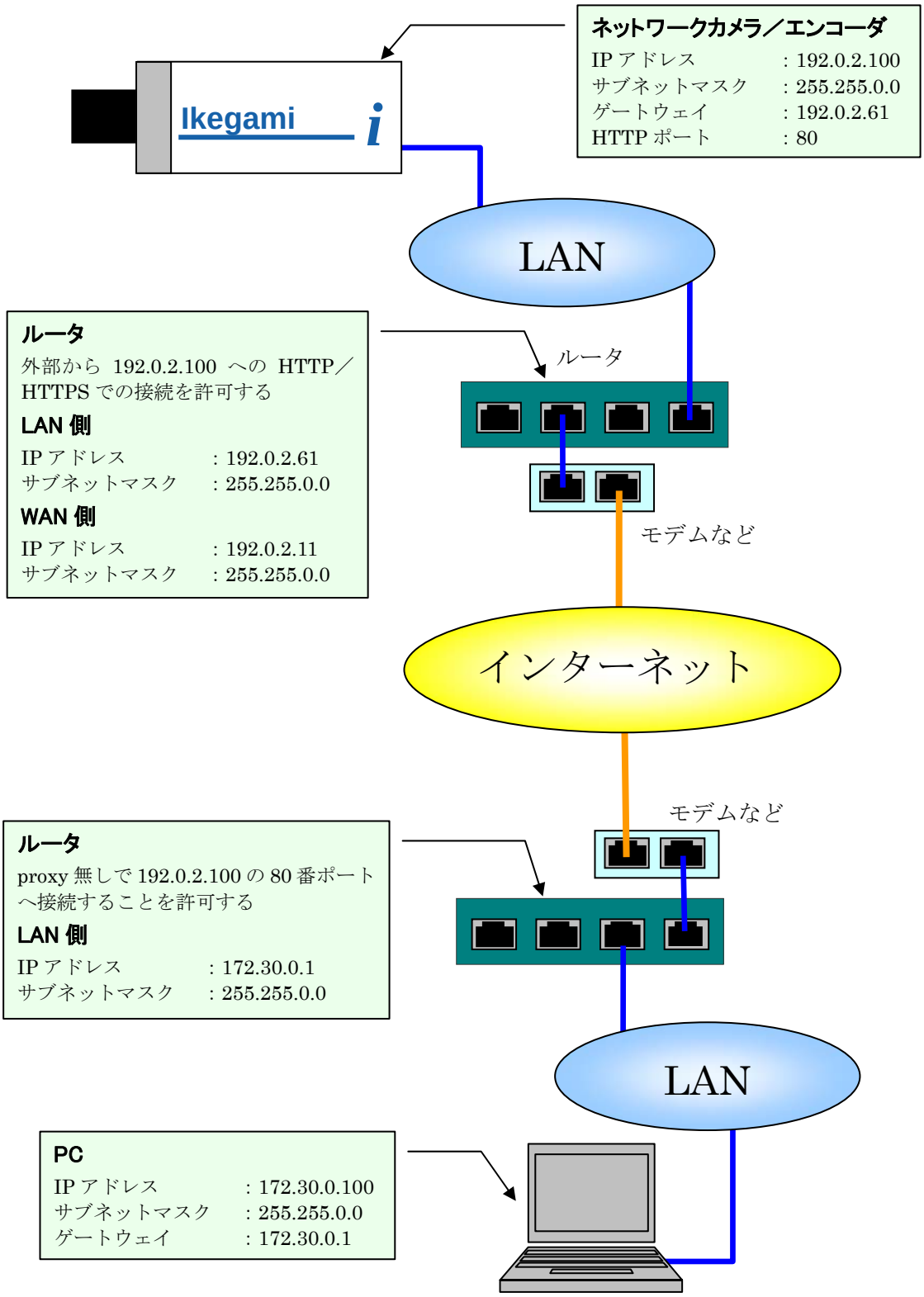
DDNS の設定（可変 IP アドレスの場合）

ルータのWAN側のインターフェースに可変でIPアドレスが割り当てられる場合、PCから接続できるように、ISP（インターネットサービスプロバイダ）などのDDNSサービスを利用してホスト名を取得してください。


ネットワークカメラ／エンコーダ
IP アドレス : 172.16.0.111
サブネットマスク : 255.255.0.0
ゲートウェイ : 172.16.0.1
HTTP ポート : 80
HTTPS ポート : 443
Ikegami
LAN
WAN 側
ポートフォワードの設定をする
port 80 → 172.16.0.111 の port 80
port 443 → 172.16.0.111 の port 443
固定 IP アドレスの場合
IP アドレス : 192.0.2.100
可変 IP アドレスの場合
DDNS サービスなどを利用して、ホスト名をつける
ルータ
LAN 側
IP アドレス：172.16.0.1
モデムなど
インターネット
モデムなど
ルータ
proxy 無しで 192.0.2.100 の 80 番、443 番ポートへ接続することを許可する
LAN 側
IP アドレス : 172.30.0.1
サブネットマスク : 255.255.0.0
LAN
PC
IP アドレス : 172.30.0.100
サブネットマスク : 255.255.0.0
ゲートウェイ : 172.30.0.1

ネットワークカメラ／エンコーダにグローバルIPアドレスを割り当てる場合

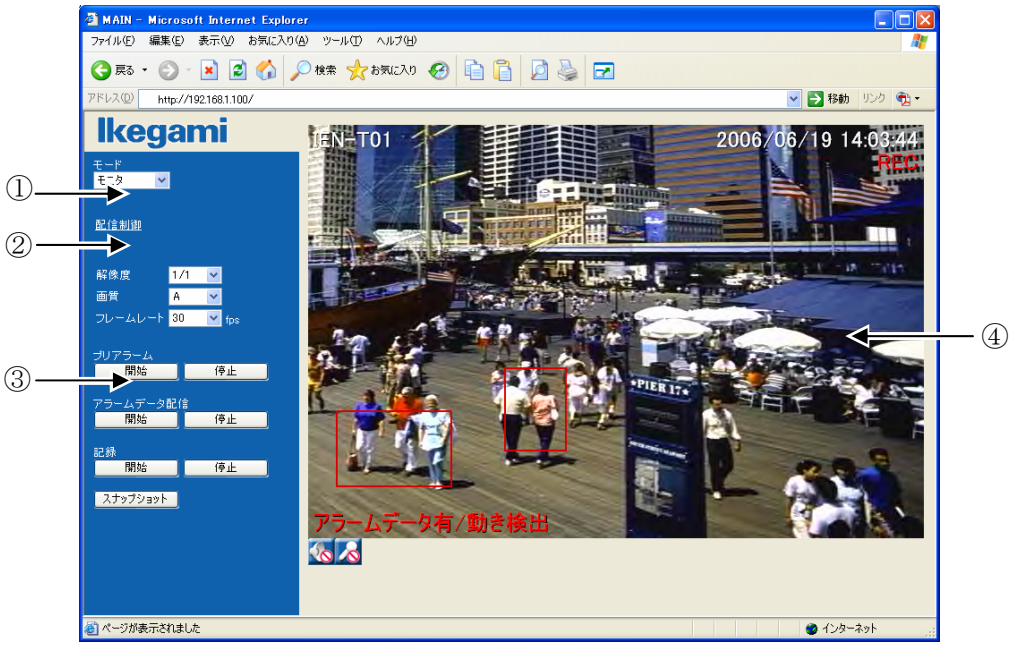
ルータだけでなく、ネットワークカメラ／エンコーダにもグローバル IP アドレスが割り当てられる場合は、ポートフォワードの設定は必要ありません。PC から、ネットワークカメラ／エンコーダに直接接続できるように、Firewall を設定してください。



監視する

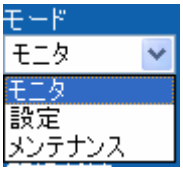
ネットワークカメラ／エンコーダに接続すると、はじめに監視画面が表示されます。

画面構成



① モード選択

「管理者」で接続している場合、ドロップダウンリストを選択することで、「モニタモード」、「設定モード」、「メンテナンスモード」を切り替えることができます。



- モニタモード　：　監視やカメラの操作を行います。（監視する）
- 設定モード　：　ネットワークカメラ／エンコーダの設定を変更します。（「基本的な設定」(P.7)、「アラーム機能を使用する」(P.35)、「その他の設定」（P.53））
- メンテナンスモード：ネットワークカメラ／エンコーダをメンテナンスします。（「メンテナンスする」（P.60））

配信映像の録画中（「配信中の映像をPCに録画する」（P.46））にモードを変更すると、録画が停止してしまいます。

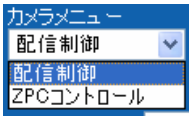
「操作者」で接続している場合は「モニタモード」に固定されていて、操作できません。

② メニュー選択

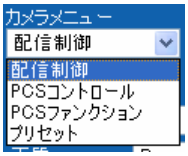
③のメニューを切り替えます。メニューは機種、接続カメラによって異なります。

ネットワークカメラの場合、ネットワークエンコーダに固定カメラを接続している場合は、「配信制御」に固定されています。

ネットワークエンコーダに弊社ズームパンチルトコントローラZPCシリーズを接続している場合は、「配信制御」、「ZPCコントロール」が選択できます。



ネットワークエンコーダに弊社コンビネーションカメラPCSシリーズを接続している場合は、「配信制御」、「PCSコントロール」、「PCSファンクション」、「プリセット」が選択できます。



③ メニュー

②で選んだ、配信映像の制御やエンコーダに接続したカメラの操作のためのメニューを表示します。

④ 配信映像

カメラの映像を表示します。

映像を見る

画面

ステータスメッセージには、次の 5 種類があります。

- プリアラーム

  プリアラーム記録中に表示されます。

- アラームデータ有

  ネットワークカメラ／エンコーダの内蔵メモリにアラーム映像が記録されている場合に表示されます。

- ビデオロス検出

  ネットワークエンコーダに映像信号が入力されていない場合に表示されます。

- アラーム検出

  アラームが発生した場合に表示されます。

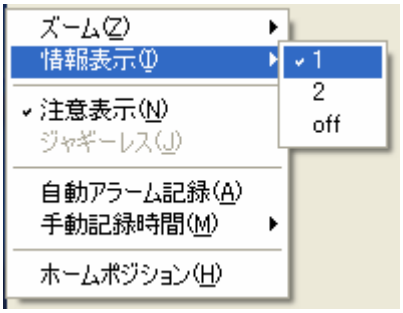
- 動き検出

  動きを検出した場合に表示されます。

複数の状態が重なっている場合は、複数のメッセージが“／”で区切って表示されます。

右クリックメニュー

映像内で右クリックすると、メニューが表示されます。



① ズーム

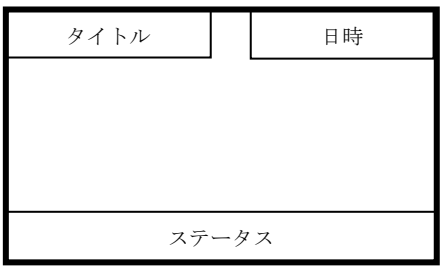
映像を拡大します。倍率は 1 倍、2 倍、4 倍から選択できます。解像度を変更するのではなく、拡大するので、映像が荒くなります。また、拡大表示した場合、PC の性能が低いと表示動作が遅くなる場合があります。

② 情報表示

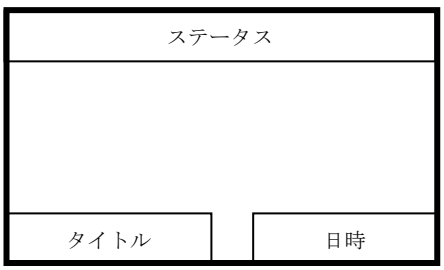
映像に重ねて表示している、「タイトル」、「日付」、「ステータス」の表示方法を変更します。

“1”を選択すると、「タイトル」と「日時」が映像の上部に、「ステータス」が映像の下部に表示され、“2”を選択すると、「ステータス」が映像の上部に、「タイトル」と「日時」が映像の下部に表示されます。“off”を選択すると、「タイトル」、「日付」、「ステータス」を表示しません。

“1”を選択



“2”を選択



③ 注意表示

チェックすると、動き検出枠を表示します。

④ ジャギーレス

「映像の走査方式を変更する」（P.58）で“フレーム”を選択している場合、動いているもののエッジがギザギザになります。ジャギーレスを有効にすると、これを補正します。ジャギーレスは”フレーム”を選択していて、解像度が 1／1 のときのみ、設定できます。

⑤ 自動アラーム記録

配信映像を表示中にアラームが発生した場合、表示している映像を自動的に PC に保存します。ネットワークカメラ／エンコーダの内蔵メモリに記録してあるアラーム映像は、ダウンロードしません。

⑥ 手動記録時間

ブラウザで表示している配信映像をPCに録画するとき（「配信中の映像をPCに録画する」（P.46））の、記録時間を選択します。

⑦ ホームポジション

エンコーダに弊社コンビネーションカメラ PCS シリーズを接続している場合、登録してあるホームポジションに移動します。

音声を聴く／送る

音声の配信／送信には、映像の下のアイコンを使用します。

PCで音声を聴くには、DirectXをインストールする必要があります。

① スピーカーアイコン

左クリックすると が消え、ネットワークカメラ／エンコーダからの音声が PC のスピーカーから聞こえるようになります。もう一度クリックすると再び が表示され、ネットワークカメラ／エンコーダからの音声が聞こえなくなります。

② マイクアイコン

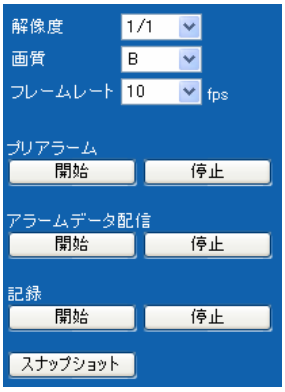
アイコンの上でマウスの左ボタンを押している間、 が消えます。その間、こちらからの音声をネットワークカメラ／エンコーダ側のスピーカーから流すことができます。マウスの左ボタンを離すと、再び が表示されます。

音声は、映像に対して約 2 秒ほど遅れることがあります。

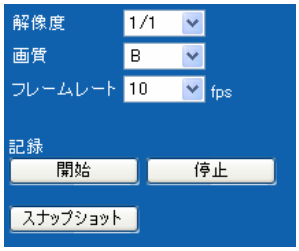
配信する映像を制御する

画面左下の配信制御メニューで配信映像を制御できます。配信制御メニューは「管理者」で接続した場合と、「操作者」で接続した場合で一部異なります。

配信制御メニュー（管理者）



配信制御メニュー（操作者）



① 解像度

映像の解像度を変更します。“1/1”、“1/4”、“1/16”が選択できます。

② 画質

映像の画質を変更します。A～E の 5 段階で、A が最も画質が高くなります。

③ フレームレート

映像のフレームレートを変更します。選択できるフレームレートは、映像信号の種類によって異なります。

- NTSCの場合　：　1、2、3、5、10、15、30 fps（国内／USA向け）
- PALの場合　：　1、2、3、5、 8、12、25 fps（ヨーロッパ向け）

④ プリアラーム（「管理者」のみ）

プリアラーム映像の記録を開始／停止します。プリアラーム映像を記録するには、アラーム機能（P.35）を有効にする必要があります。

⑤ アラームデータ配信（「管理者」のみ）

ネットワークカメラ／エンコーダのメモリに記録してあるアラーム映像をPCにダウンロードします。アラーム映像を記録するには、アラーム設定（「アラームの設定を変更する」（P.35））でアラーム機能を有効にする必要があります。

⑥ 記録

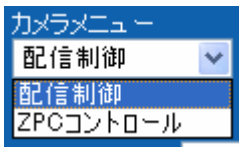
“開始”をクリックすると、現在の映像を PC に録画します。録画をやめるには、“停止”をクリックします。

⑦ スナップショット

現在の映像を静止画像としてＰＣに保存します。BMP形式で保存されます。

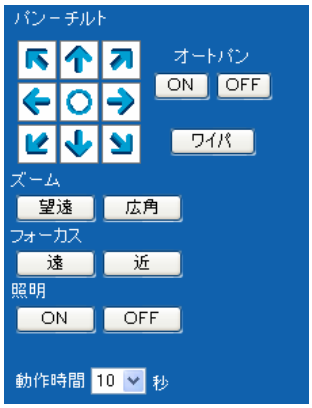
ネットワークエンコーダに接続したカメラを操作する（ZPC）

ネットワークエンコーダに弊社製ズームパンチルトコントローラZPCシリーズを接続している場合、監視画面のメニュー選択部分に「カメラメニュー」と表示され、ドロップダウンリストに“ZPCコントロール”が表示されます。



ZPCコントロール

「ZPC コントロール」メニューでは、ZPC シリーズを操作できます。



① パン－チルト

ボタンを押している間、カメラの向きを上下左右方向に動かします。

ボタンを離しても動作が止まらなくなってしまった場合は、真ん中のを クリックすると、停止します。

複数の PC からほぼ同時に操作した場合、あとからの操作を優先して受け付けます。

② オートパン

“ON”をクリックすると、首振りを開始します。“OFF”で停止します。

③ ワイパ

カメラハウジングのワイパを動作させます。

④ ズーム

レンズの望遠／広角操作を行います。ボタンを押している間、動作します。

⑤ フォーカス

レンズのフォーカスをあわせます。“遠”と“近”はボタンを押している間、動作します。

⑥ 照明

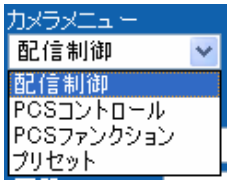
カメラハウジングの照明を点灯／消灯させます。

⑦ 動作時間

ここで選択した時間が経過すると、パン・チルトボタンを押し続けていても、カメラが自動的に停止します。

ネットワークエンコーダに接続したカメラを操作する（PCS）

ネットワークエンコーダに弊社製コンビネーションカメラPCSシリーズを接続している場合、監視画面のメニュー選択部分に「カメラメニュー」と表示され、ドロップダウンリストに“PCSコントロール”、“PCSファンクション”、“プリセット”が表示されます。



PCSコントロール

「PCS コントロール」メニューでは、PCS シリーズのカメラを操作できます。

① パン－チルト

ボタンを押している間、カメラの向きを上下左右方向に動かします。

ボタンを離しても動作が止まらなくなってしまった場合は、真ん中の をクリックすると、停止します。

複数の PC からほぼ同時に操作した場合、あとからの操作を優先して受け付けます。

② オートパン

“ON”をクリックすると、首振りを開始します。“OFF”で停止します。

③ ワイパ

カメラハウジングのワイパを動作させます。

④ ズーム

レンズの望遠／広角操作を行います。ボタンを押している間、動作します。

⑤ フォーカス

レンズのフォーカスをあわせます。“遠”と“近”はボタンを押している間、動作します。

PCS－70 をお使いの場合、ワンプッシュ をクリックすると自動でフォーカスをあわせます。

PCS－35 をお使いの場合は、ワンプッシュ をクリックすると最も近くにフォーカスが移動してしまいます。

⑥ 照明

カメラハウジングの照明を点灯／消灯させます。

⑦ パンーチルトスピード

カメラのパンーチルトの動作スピードを選択します。

⑧ レンズスピード

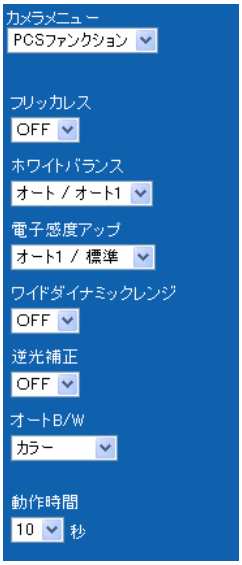
レンズの動作スピードを選択します。

⑨ プリセット

実行 をクリックすると、カメラの向きが選択したプリセット位置に移動します。

PCSファンクション

「PCS ファンクション」メニューでは、PCS シリーズの設定を変更できます。ドロップダウンリストから選択することで、ただちに設定が反映されます。



① フリッカレス

フリッカレス機能のON／OFFが選択できます。

② ホワイトバランス

ホワイトバランスの調整方法が選択できます。

- オート／オート１

  被写体の色温度の変化に追従して、自動的に調節します。通常の光源ではこれを選択します。

- オート／オート２

  被写体の色温度の変化に追従して、自動的に調節します。光源がナトリウムランプの場合などに選択します。

- ワンプッシュ

  被写体の現在の色温度にあわせて調節します。

③ 電子感度アップ

電子感度アップモードを以下の 4 種類から選択できます。

- OFF　　：　通常モード
- オート１／標準　：　被写体のブレと画面のざらつきを抑えて撮影するモード
- オート２／S／N　：　明るさが変化し、動きの少ない被写体を撮影するモード
- オート３／ムーブ　：　明るさが変化し、動きのある被写体を撮影するモード

④ ワイドダイナミックレンジ

ワイドダイナミックレンジ機能の ON／OFF を選択できます。

⑤ 逆光補正

逆光補正機能の ON／OFF を選択できます。

⑥ オート B/W

昼夜モードを以下から選択できます。

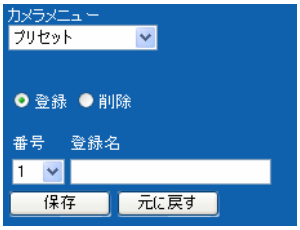
- カラー　　：　昼モード
- オートＢ／W　：　昼夜切替自動モード
- Ｂ／W　　：　夜モード（白黒映像）

⑦ 動作時間

ここで選択した時間が経過すると、パンーチルトボタンを押し続けていても、カメラが自動的に停止します。

プリセット

PCS シリーズでは、プリセット位置を記憶させることができます。エンコーダを介した場合は、16 ヵ所まで記憶させることができます。



① 登録／削除

保存 をクリックしたときに、選択されている番号のプリセット位置を登録するか、削除するかを選択します。

② 番号

プリセット番号を選択します。1～16 まで選択できます。

③ 登録名

現在のプリセット位置の名前を入力します。半角英数字を 16 文字まで入力できます。

④ 保存／元に戻す

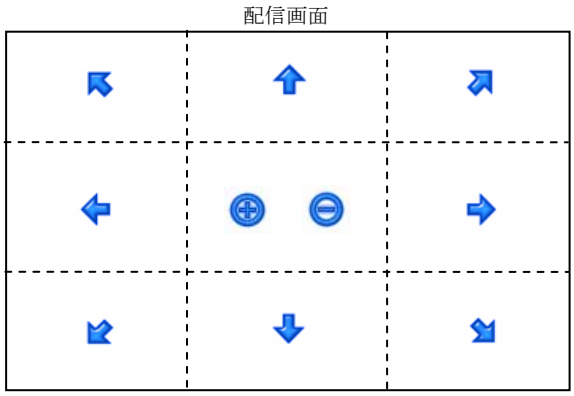
- 保存　　：　プリセット位置をカメラに保存します。
- 元に戻す　：　メニューを最後に保存した状態に戻します。

ネットワークエンコーダに接続したカメラを操作する（ZPC、PCS）

ネットワークエンコーダに ZPC シリーズまたは PCS シリーズを接続している場合、映像部分をクリックすることでもカメラを操作できます。

映像にマウスカーソルを載せると、カーソルのアイコンが に変化します。矢印の向きは 8 種類あります。マウスの左ボタンを押している間、カメラが矢印の方向に動きます。

マウスカーソルを中央にもっていくと、カーソルのアイコンが に変化します。マウスの左ボタンを押している間、カメラはズームインをします。また、右ボタンを押している間はカーソルのアイコンが に変化し、カメラがズームアウトします。ボタンを離すと停止します。



ホイールマウスを使用している場合、ホイールボタンを回転することで、フォーカスを合わせることができます。ホイールの回転でレンズのフォーカスを合わせる場合、映像を一度クリックして、マウスの制御を映像に移す必要があります。

複数の PC からほぼ同時に操作した場合、あとからの操作を優先して受け付けます。

アラーム機能を使用する

本ネットワークカメラ／エンコーダでは、アラームが発生した時点の前後数秒間の映像を内蔵のメモリに記録することができます。

また、アラームが発生したことをメールで PC や携帯電話に伝えることもできます。

アラームには、アラーム端子からの入力による外部入力アラームと、動き検出機能 (P.38) による動きアラームがあります。

アラームの設定を変更する

アラーム機能を使用するには、アラーム設定画面で機能を有効にする必要があります。「管理者」で接続して設定モードに切り替えます。設定メニューの“アラーム”をクリックすると、アラーム設定画面が表示されます。

① アラーム機能

アラーム機能のON／OFFを選択します。OFFにすると、動き検出機能（P.38）もOFFになります。

② プリアラーム時間

アラーム発生前の何秒間の映像を、ネットワークカメラ／エンコーダの内蔵メモリに保存するか選択します。0～4 秒が選択できます。

③ ポストアラーム時間

アラーム発生後の何秒間の映像を、ネットワークカメラ／エンコーダの内蔵メモリに保存するか選択します。1～4 秒が選択できます。

④ 保存数

1 秒あたりに保存するアラーム画像の枚数を設定します。

保存できる枚数は、映像信号の種類によって異なります。

- NTSCの場合　：　1、2、3、5、10、15、30 枚（国内／USA向け）
- PALの場合　：　1、2、3、5、 8、12、25 枚（ヨーロッパ向け）

⑤ アラーム画像保護

ネットワークカメラ／エンコーダのアラーム画像保存用内蔵メモリがいっぱいになったとき、古いアラーム映像を、新しいアラーム映像で上書きすることを許可するか否かを選択できます。

アラーム映像の上書きを禁止している場合、内蔵メモリが満杯になると、それ以上アラーム映像を記録できません。アラーム映像をPCにダウンロード（P.45）すると内蔵メモリに空きができるので、再びアラーム映像の記録を開始します。

アラーム映像をネットワークカメラ／エンコーダの内蔵メモリに記録する

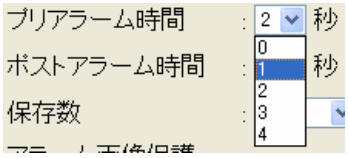
ポストアラーム映像の記録

アラーム機能を有効にしておけば、ポストアラーム映像（アラーム発生後の映像）は、ネットワークカメラ／エンコーダの内蔵メモリに自動的に記録されます。

プリアラーム映像の記録

プリアラーム映像（アラーム発生前の映像）を内蔵メモリに記録するには、下記の操作が必要です。

アラーム設定でプリアラームを 1 秒以上記録するよう設定します。



監視画面「配信制御」メニュー（P.27）の「プリアラーム」の 開始 をクリックします。

この操作を行うには、「管理者」で接続する必要があります。
「操作者」では、「配信制御」メニューに「プリアラーム」が表示されません。

以上でプリアラーム映像の記録ができるようになります。

アラーム映像の記録時間

ネットワークカメラ／エンコーダの内蔵メモリには、解像度１／１、画質 A のアラーム画像を 380 枚記録できます。解像度と画質は変更できません。

記録時間は、映像信号の種類、保存数の設定によって変化します。以下の表を参考にしてください。

NTSC の場合

保存数（枚）	記録時間（秒）
1	380
2	190
3	126
5	76
10	38
15	25
30	12

PAL の場合

保存数（枚）	記録時間（秒）
1	380
2	190
3	126
5	76
8	47
12	31
25	15

さらに、アラームの記録件数は、「プリアラーム時間」と「ポストアラーム時間」の設定によって変化します。アラームの記録件数は以下の式で計算できます。

アラーム記録件数 ＝ 記録時間 ÷ (プリアラーム時間 ＋ ポストアラーム時間)

例えば、映像信号が NTSC で保存数を 5 枚、プリアラーム時間を 1 秒、ポストアラーム時間を 2 秒に設定した場合、記録時間は 76 秒になりますから、

アラーム件数 ＝ 76 ÷ (1 + 2) = 25

で 25 件のアラーム映像を内蔵メモリに記録できることになります。

ネットワークカメラ／エンコーダの内蔵メモリに記録されたアラーム映像は、PCにダウンロード（P.45）することで削除されます。

また、ネットワークカメラ／エンコーダを再起動したり、電源が再投入されると、内蔵メモリに記録されたアラーム映像は消えてしまいます。

動き検出機能を設定する

動き検出（モーションディテクション）機能を使うと、カメラ映像が変化した（何かが動いた）ときにアラームを発生させることができます。

動き検出機能を使うには、アラーム機能（P.35）と動き検出機能の両方を有効にする必要があります。設定メニューの動き検出をクリックすると、画面右に動き検出設定画面が表示されます。

動き検出機能は、保存 をクリックしなくても設定が反映されますが、ネットワークカメラ／エンコーダを再起動すると設定が元に戻ってしまいます。設定やマスク、最小サイズを変更したら、保存 をクリックして設定した値を保存してください。

動き検出の基本的な設定

① 映像

映像内でマウスを左ドラッグすることで、マスク範囲や最小検出サイズを設定することができます。

② 動き検出機能

動き検出機能のON／OFFを設定します。動き検出機能を使うには、アラーム機能（P.35）もONにする必要があります。

③ 表示

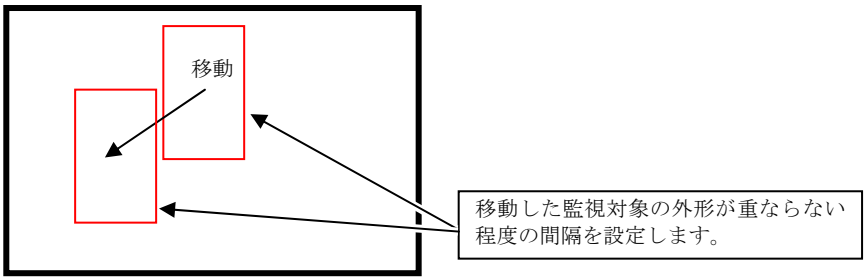
映像内でマウスを左ドラッグしたときに、マスク範囲と最小検出サイズのどちらを設定するかを選択します。

④ 感度

動きの検出しやすさを設定します。感度が高いほど、動きを検出しやすくなりますが、ノイズなども動きとして検出しやすくなってしまいます。監視映像の明るさによりますが、10～20 が目安です。

⑤ 間隔

動きを検出する間隔を 1／60 秒単位で設定します。映像中の監視対象物の外形が、設定した間隔の前後で重なり合わない程度の時間が目安です。あまり長く設定すると、アラーム発報も遅くなります。

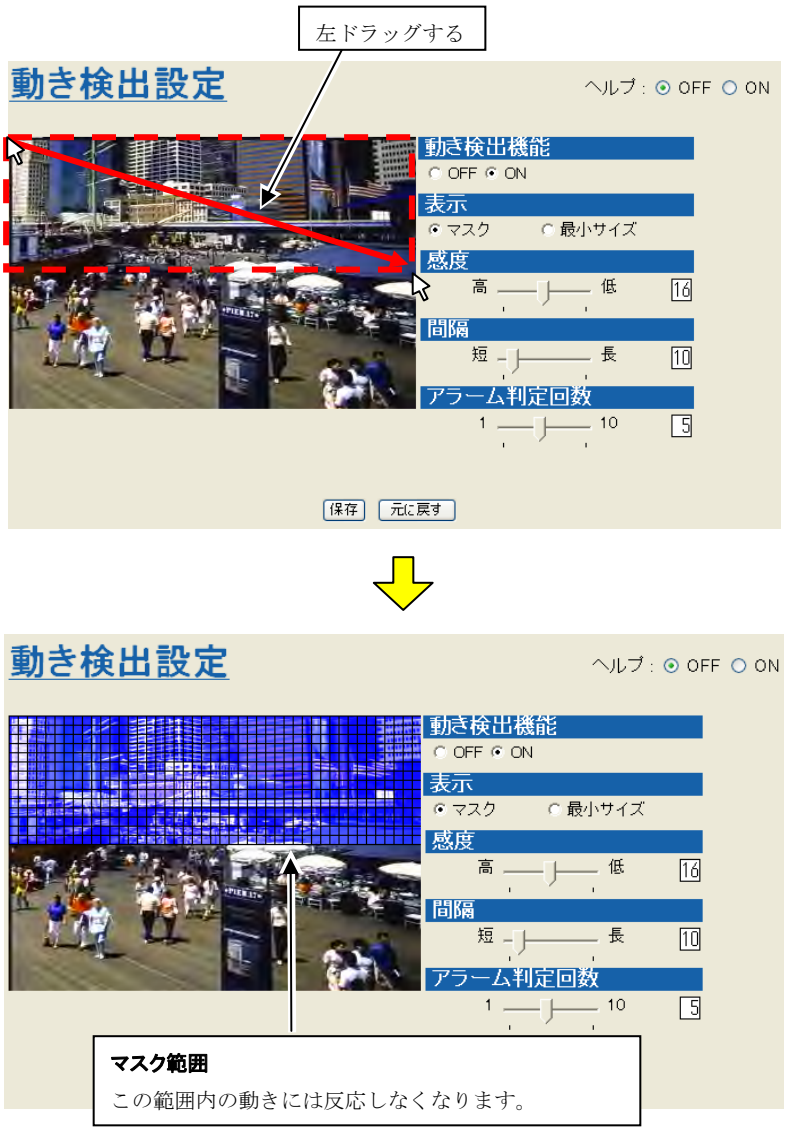


⑥ アラーム判定回数

一定期間内に何回動きを検出できたらアラームとするかを設定します。大きくすると、アラーム発報が遅くなりますが、誤報になりにくくなります。

マスク設定

表示の“マスク”を選択して、映像内でマウスを左クリック／左ドラッグすると、その範囲が青く表示され、動きを検出しないように設定されます。



マスクを解除するには、解除したい範囲を右クリック／右ドラッグします。青く表示されていた範囲がもとの映像に戻ります。

最小サイズ設定

表示の“最小サイズ”を選択して、映像内で左クリック／左ドラッグすると、動きを検出するときの最小のサイズを設定できます。最小サイズの設定の目安は、対象が人の場合、監視領域に入った人の縦横共に 2／3 程度の縦長のサイズとなります。

最小サイズを設定しておけば、その大きさより小さいもの（小動物や遠くの人など）が動いても、動きを検出しなくなります。

映像内で左クリック／左ドラッグすると、その範囲が赤く表示されます。

動き検出アラームを確認する

アラーム機能と動き検出機能の設定を ON にすると、監視画面で動き検出アラームの発生がわかるようになります。

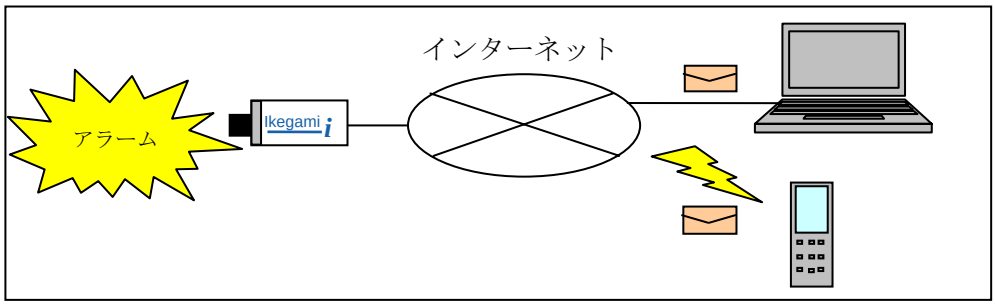
動き検出枠

動きを検出すると、動いた物体に枠を表示します。

動きがアラームと判定されると、枠は赤色で表示されます。アラーム判定回数に満たない動きは、黄色い枠で表示されます。

アラームをメールで知らせる

アラームが発生したことを電子メールで知らせることができます。



メールの設定を変更する

メールを送信するための基本的な設定をします。設定メニューのメールをクリックします。

① メール機能

アラーム発生時にメールを送信するか否かを選択します。

② メール

- アドレス

  送信元のメールアドレスを入力します。

- 件名

  メールの件名を入力します。半角だと 44 文字、全角では 22 文字までです。「"」は入力できません。

- 本文

  メールの本文を入力します。半角だと 63 文字、全角では 31 文字までです。「"」は入力できません。

③ SMTP

- サーバ名　：　SMTPサーバのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
- ポート番号　：　サーバの SMTP サービスのポート番号を入力します。

④ 認証機能

メールを送信するときの認証形式を選択します。

- OFF　：　認証しません。
- POP before SMTP　：　POP before SMTPで認証します。
- SMTP-Auth　：　SMTP-Authで認証します。

⑤ アカウント

認証時に使用するアカウントの情報を入力します

- アカウント名

  アカウント名を入力します。半角だと 63 文字、全角だと 31 文字まで。

  「"」は入力できません。
- パスワード

  パスワードを入力します。半角 63 文字まで、「"」は入力できません。

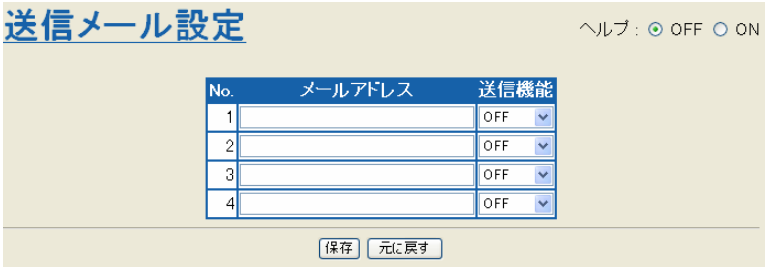
⑥ POP3

POP before SMTP で認証するときの POP3 サーバの設定です。

- サーバ名　：　POP3 サーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
- ポート番号　：　サーバの POP3 サービスのポート番号を入力します。

送信先を登録する

メールを受け取る側のメールアドレスを登録します。送信先は、最大 4 件登録できます。送信先を登録するには、設定メニューの送信メールをクリックします。



① メールアドレス

送信先のメールアドレスを入力します。

② 送信機能

この送信先に、メールを送るか否かを設定します。

録画／再生する

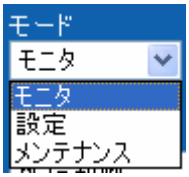
ネットワークカメラ／エンコーダの内蔵メモリに記録されたアラーム映像や配信中の映像を PC に録画することができます。

映像の録画には、下記の二種類があります。

- ネットワークカメラ／エンコーダの内蔵メモリに記録されたアラーム映像を PC にダウンロードする
- PC に配信され、ブラウザで表示している映像を PC に録画する

アラーム映像を PC にダウンロードするためには、「管理者」で接続する必要があります。

録画は監視画面で行います。モード選択で「モニタ」を選択してください。



監視画面に切り替わり、画面左下に配信制御メニューが表示されます。

アラーム映像を PC にダウンロードする（「管理者」のみ）

ネットワークカメラ／エンコーダの内蔵メモリに記録されているアラーム映像（「アラーム映像を記録する」（P.36））をPCにダウンロードできます。ダウンロードした映像は、カメラの内蔵メモリから削除されます。

この操作は「管理者」で接続したときのみ有効です。

アラーム映像をダウンロードするには、「配信制御」メニューの「アラームデータ配信」の 開始 をクリックします。

アラーム映像の保存場所は、

“デスクトップ¥Monitoring¥*配信タイトル*¥Alarm¥*日付*¥*時刻*”

です。

配信タイトルが無い場合は、

“デスクトップ¥Monitoring¥Alarm¥*日付*¥*時刻*”

に保存されます。

ネットワークカメラ／エンコーダの映像をネットワークレコーダに録画している場合、レコーダがアラーム映像を自動的にダウンロードしてしまい、「管理者」で接続してもアラーム映像をダウンロードできない可能性があります。

配信中の映像を PC に録画する

ネットワークカメラ／エンコーダの内蔵メモリに記録されたアラーム映像のダウンロードとは別に、PC に配信されてブラウザで表示中の映像を PC に録画することができます。この場合、録画する映像の解像度、画質、フレームレートは、PC へ配信した時の映像と同じになります。

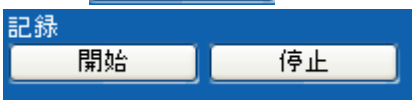
録画中は録画を優先するため、映像の表示が遅くなります。

「管理者」で接続している場合、配信映像の録画中にモード（「モード選択」（P.22））を変更すると、録画を終了してしまいます。これは、ブラウザで表示中の映像を録画しているためです。

映像をPCに録画する

手順

「配信制御」メニューの下から 2 番目の、「記録」の 開始 をクリックすると、配信中の映像を PC に保存します。 停止 のクリックで録画を停止します。



映像の保存場所は、

“デスクトップ¥Monitoring¥*配信タイトル*¥Record¥*日付*¥*時刻*”

です。

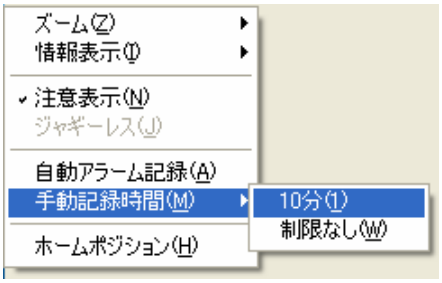
配信タイトルが無い場合は、

“デスクトップ¥Monitoring¥Record¥*日付*¥*時刻*”

に保存されます。

記録時間

配信映像内で右クリックすると表示されるメニューの「手動記録時間」で、PC に録画する時間を設定できます。



記録時間は、下記の 2 種類から選択できます。

- 10 分

  10 分録画すると、自動的に停止します。

- 制限なし

  「配信制御メニュー」－「記録」の 停止 をクリックするまで、録画し続けます。

  制限なしの場合、10 分ごとに

  “デスクトップ¥Monitoring¥*配信タイトル*¥Record¥”

  以下に、新しい"*日付¥時刻*"フォルダを作成して、このフォルダに録画します。

  配信タイトルが無い場合は、

  “デスクトップ¥Monitoring¥Record¥”

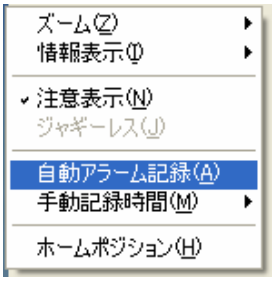
  以下に新しい"*日付¥時刻*"フォルダを作成して、このフォルダに録画します。

アラームが発生したら、配信中の映像を自動的にPCに録画する

配信中の映像でアラームが発生したら、その映像を自動的に PC に録画することができます。

ネットワークカメラ／エンコーダの内蔵メモリに記録したアラーム映像を PC に録画するのではなく、PC に配信されてブラウザで表示中の映像を録画するので、アラーム発生直前の映像（プリアラーム映像）は録画できません。また、ネットワークカメラ／エンコーダに記録した映像は「自動アラーム記録」では消えません。

配信映像内で右クリックすると表示されるメニューの「自動アラーム記録」を選択します。



保存場所は、

“デスクトップ¥Monitoring¥*配信タイトル*¥Auto-Alarm¥*日付*”

です。

配信タイトルが無い場合は、

“デスクトップ¥Monitoring¥Auto-Alarm¥*日付*”

に保存されます。

写真を撮る

「配信制御」メニューの一番下の スナップショット をクリックすると、その瞬間の画像をBMP形式で保存できます。ブラウザで表示したそのままの画像が保存されます。

保存場所は、

“デスクトップ¥Monitoring¥*配信タイトル*”

です。

配信タイトルが無い場合は、

“デスクトップ¥Monitoring”

に保存されます。

ファイル名は、

“*画像の日付－画像の時間*.bmp”

となります。

再生する

ネットワークカメラ／エンコーダからダウンロードしたアラーム映像や、PC で録画した配信映像を再生できます。

再生時の解像度／画質／フレームレート

再生時の解像度、画質、フレームレートは下記のようになります。

- ネットワークカメラ／エンコーダからダウンロードしたアラーム映像
  - 解像度　：　1／1
  - 画質　：　A
  - フレームレート　：　「アラーム設定」（P.35）で設定した保存数
- PC で録画した配信映像

  録画時の解像度、画質、フレームレートで再生されます。

映像の録画場所

録画した映像は、

“デスクトップ¥ Monitoring¥*配信タイトル*¥*映像の種類*¥*映像の日付*¥*映像の時刻*”

フォルダの下に録画されます。

配信タイトルが無い場合は、

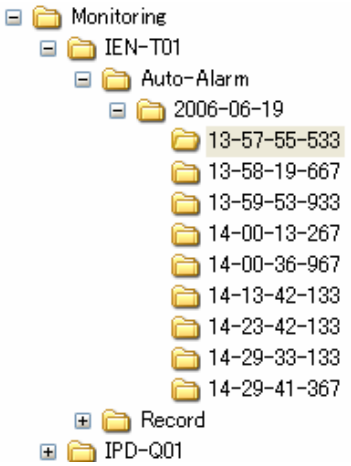
“デスクトップ¥ Monitoring¥*映像の種類*¥*映像の日付*¥*映像の時刻*”

フォルダの下に録画されます。

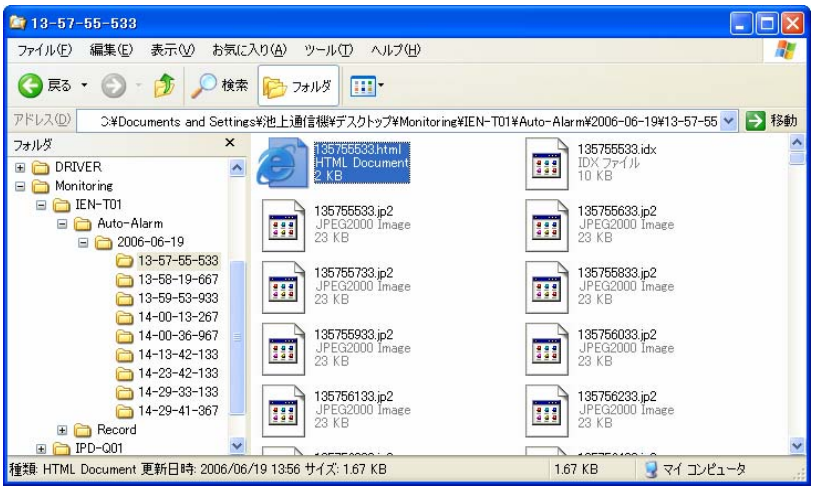
映像の種類は以下の 3 種類です。

- Alarm　　：　「アラームデータ配信」でダウンロードした映像です。
- Auto-Alarm　：　「自動アラーム記録」で録画した映像です。
- Record　　：　「記録」で録画した映像です。

例えば、下の図で選択しているフォルダには、2006 年 6 月 19 日 13 時 57 分 55.533 秒に録画したアラーム映像が保存されています。



再生の手順

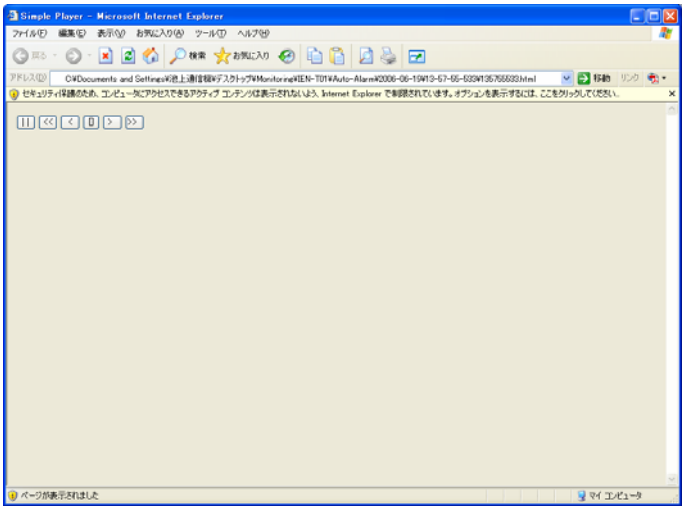


“日付”フォルダの下には、JPEG2000のファイル（“～．jp2”というファイル）と、HTMLファイル（“～．html”というファイル）があります。

これらのファイルを削除してしまうと、再生できなくなりますので、ご注意ください。

“日付”フォルダごと移動することは可能です。

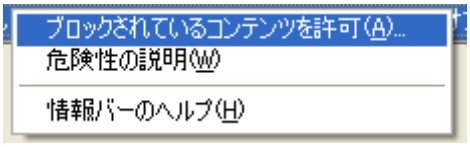
録画した映像を再生するには、HTML ファイルを Internet Explorer で開きます。



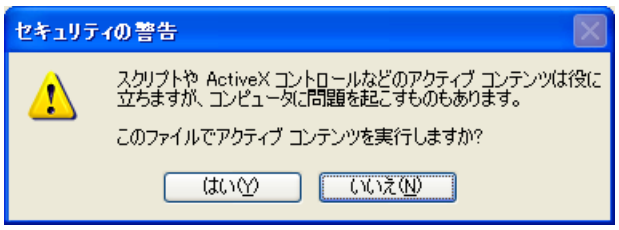
Internet Explorer の画面上部に、

「セキュリティ保護のため、コンピュータにアクセスできるアクティブコンテンツは表示されないよう、Internet Explorer で制限されています。オプションを表示するには、ここをクリックしてください...」

という黄色いバーが表示された場合は、そのバーをクリックしてください。メニューが開きますので、“ブロックされているコンテンツを許可（A）...”をクリックします。

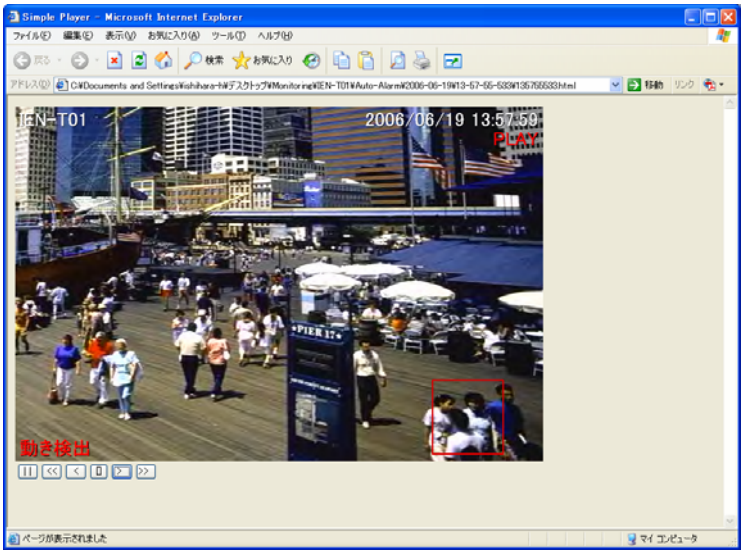


セキュリティの警告ダイアログボックスが表示された場合は、 はい(Y) をクリックしてください。

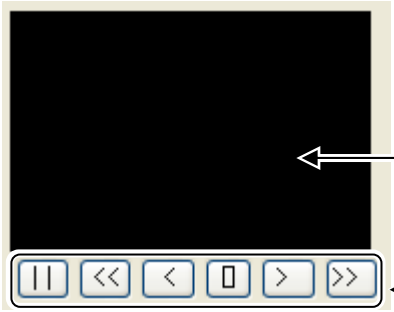


再生画面が表示されます。

をクリックすると、再生が始まります。



再生画面の操作



① 操作ボタン

左から、

- ：一時停止
- ：早戻し（クリックするごとに、2 倍→5 倍→10 倍→2 倍…となります）
- ：逆再生
- ：停止
- ：再生
- ：早送り（クリックするごとに、2 倍→5 倍→10 倍→2 倍…となります）

となっています。

② 録画映像

録画映像の表示は、監視画面の配信映像とほぼ同じです。

配信画面では、記録時に REC と表示される部分に、操作状態が表示されます。表示される文字の意味は次のとおりです。

- PAUSE : 一時停止中
- REW×2, 5, 10 : 2,5,10 倍速で早戻し中
- REV : 逆再生中
- STOP : 停止中
- PLAY : 再生中
- FF×2, 5, 10 : 2,5,10 倍速で早送り中

映像上で右クリックすると、配信画面と同じメニュー（P. 24）が表示されます。

PC の性能が低い場合、録画した映像の再生スピードが遅くなる場合があります。

その他の設定

レコーダを登録する

ネットワークカメラ／エンコーダの映像をネットワークレコーダに記録する場合は、レコーダのログイン名、パスワードを登録します。

① ログイン名

レコーダのログイン名を入力します。半角英数字で最大 16 文字まで入力できます。「"」、「'」、「&」、「<」、「>」は入力できません。

② パスワード

レコーダのパスワードを入力します。半角英数字で最大 8 文字まで入力できます。「"」、「'」、「&」、「<」、「>」は入力できません。

③ パスワード（再入力）

確認のために、②のパスワードと同じものを入力します。

④ 表示言語

画面の表示言語を選択します。

時刻のずれを自動的に調整する

NTP機能を使って時刻のずれを自動的に調整することができます。設定メニューのNTPをクリックしてください。

① NTP 機能

ON に設定すると、NTP を利用して、自動的に時刻を合わせます。

② 調整時刻

NTP サーバに問い合わせる時刻を設定します。

③ NTP サーバ

NTP サーバの IP アドレスまたはホスト名を設定します。LAN 内のものやプロバイダが提供しているものなど、できるだけ近くの NTP サーバを指定することをお勧めします。

④ タイムゾーン

ネットワークカメラ／エンコーダを設置する場所の時刻が、グリニッジ標準時からどれだけずれているかを設定します。最も近い都市、地域を選択してください。

映像の一部を隠す

プライバシーマスク機能により、配信映像の一部をモザイクなどで隠すことができます。

プライバシーマスク機能は、アラーム映像（P.35）やPCに録画した映像（P.46）にも働きます。したがって、プライバシーマスク機能を使用している場合、これらの映像を再生する（P.48）ときにも映像の一部が隠されて表示されます。ただし、アナログ出力にはプライバシーマスク機能が働きません。

設定メニューのプライバシーマスクをクリックします。

プライバシーマスクの設定は、保存 をクリックしなくても設定が反映されますが、ネットワークカメラ／エンコーダを再起動すると設定が元に戻ってしまいます。保存 をくりっくして設定をネットワークカメラ／エンコーダ内のメモリに書き込んでください。

プライバシーマスク機能

映像の一部をどのようにして隠すかを選択します。

- OFF

  マスク範囲を隠しません。

- モザイク

  マスク範囲をモザイクで表示します。

- 黒

  マスク範囲を黒で塗りつぶします。

- 灰

  マスク範囲を灰色で塗りつぶします。

- 白

  マスク範囲を白で塗りつぶします。

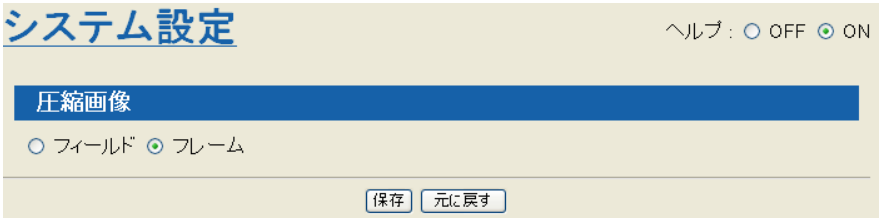
画面上部や下部を白でマスクすると、配信タイトルや時刻が見えにくくなってしまう可能性があります。

マスク範囲の設定

映像部分で左クリック／左ドラッグすると、その範囲が緑で表示されます。マスクを解除するには、解除したい範囲を右クリック／右ドラッグします。緑で表示されていた範囲がもとの映像に戻ります。

映像の走査方式を変更する

映像の走査方式は、システム設定画面で変更できます。設定メニューの「システム」をクリックしてください。



- フレーム

  インターレース方式のフレーム画像（フレーム画像＝2 枚のフィールド画像）をJPEG 2000 で圧縮します。フィールドを選択した場合よりも垂直解像度が高くなります。動きのある映像では、ブレが生じてしまいますので、動きの少ない映像を監視する場合に選択してください。通常はこちらを選択してください。

  動きのある映像でブレが気になる場合は、監視画面の映像上で右クリックして、メニュー（P.25）の「ジャギーレス」を選択してください。

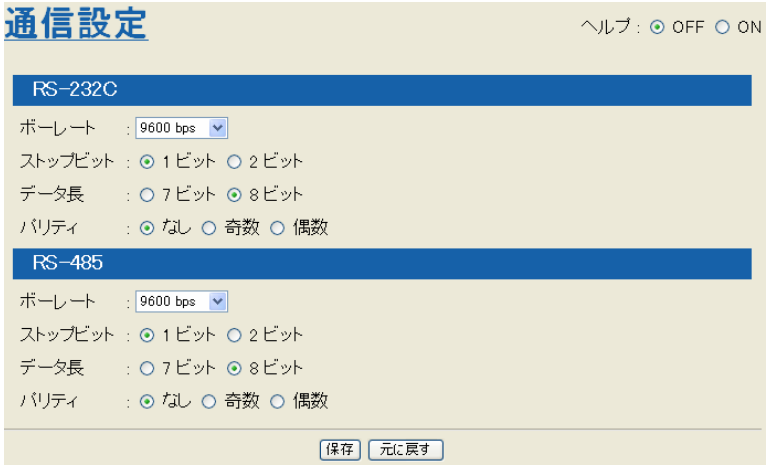
- フィールド

  インターレース方式のフィールド画像をJPEG 2000 で圧縮します。垂直解像度が低くなってしまいますが、動きのある映像でブレがなくなります。

シリアル通信の設定を変更する（ネットワークエンコーダのみ）

RS－232CやRS－485といったシリアル通信の設定を変更できます。設定メニューの「通信」をクリックしてください。

通信設定はネットワークエンコーダでのみ変更できます。



① ボーレート

エンコーダとの通信速度（bit per second）を選択します。

② ストップビット

データの区切りで送るストップビットを何ビットにするかを選択します。

③ データ長

１個のデータの長さを選択します。

④ パリティ

パリティビットのつけ方を選択します。

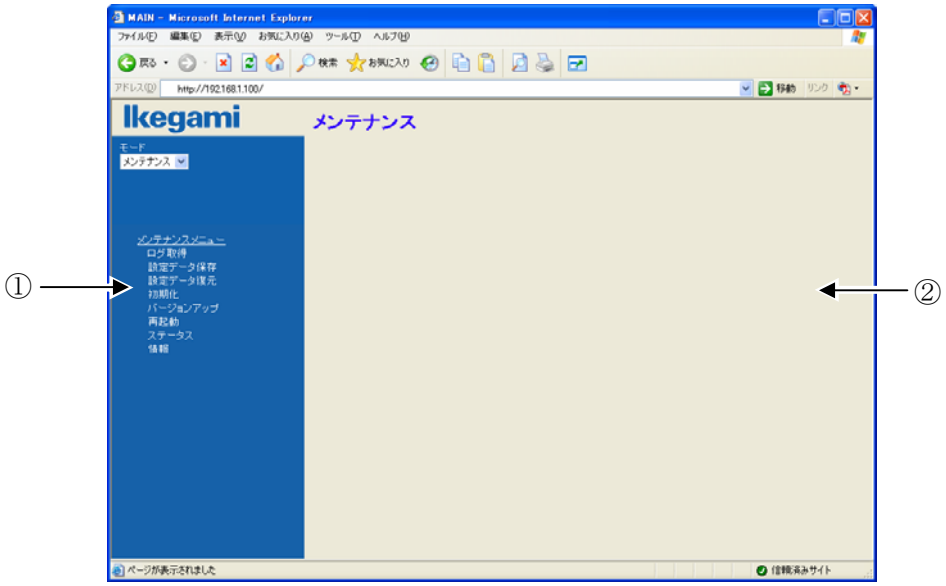
メンテナンスする

ネットワークカメラ／エンコーダをメンテナンスするには、管理者で接続する必要があります。初期設定では、管理者のユーザー名が“admin”、パスワードが“1”です。

ネットワークカメラ／エンコーダをメンテナンスするには、モード選択でメンテナンスを選びます。

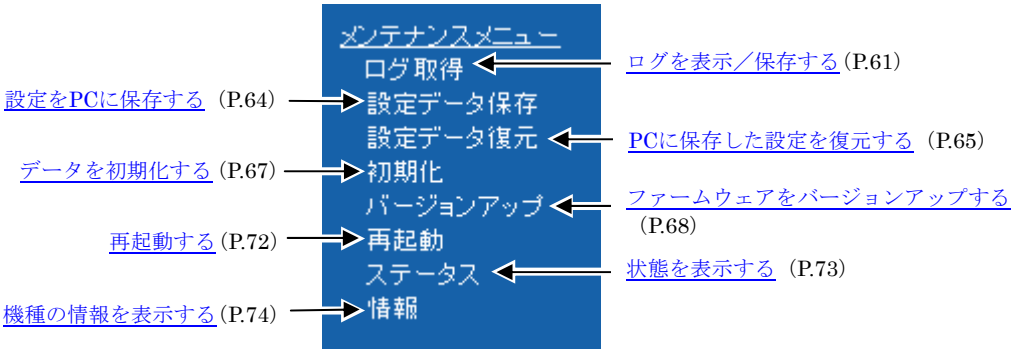
メンテナンスメニューとタイトル画面が表示されます。

画面構成



① メンテナンスメニュー

メンテナンスしたい項目を選びます。



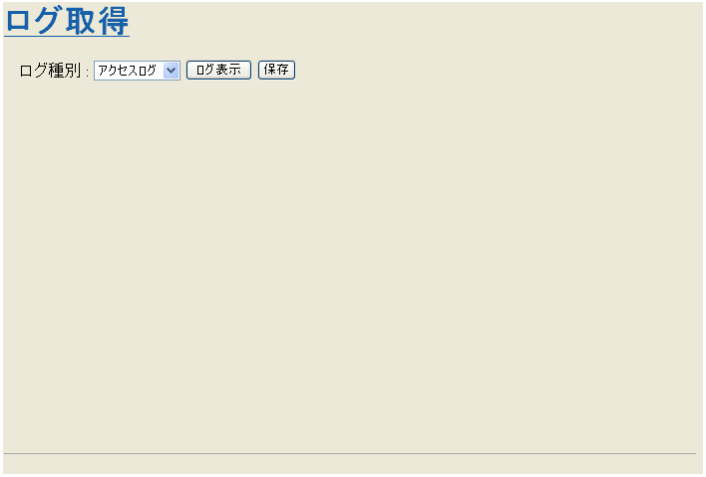
② メンテナンス画面

各メンテナンス項目の画面が表示されます。

ログを表示／保存する

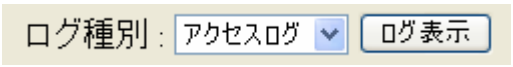
ネットワークカメラ／エンコーダのログをブラウザで表示したり、PC のファイルに保存したりできます。ログは販売店、工場でのメンテナンス時に使用します。

メンテナンスメニューの「ログ取得」をクリックします。



ログをブラウザで表示する

画面上部のドロップダウンリストから、表示したいログの種別を選択します。



表示できるログは、以下の 4 種類です。

- アクセスログ　：　ブラウザで接続した履歴です。
- 制御ログ　：　ネットワークカメラ／エンコーダの操作、設定変更の履歴です。
- アラームログ　：　アラーム発生の履歴です。
- エラーログ　：　ネットワークカメラ／エンコーダに発生した障害の履歴です。

アラームログは最大 500 件、その他のログは最大 200 件ずつ記録できます。

ログ表示 をクリックすると、画面中央にログが表示されます。

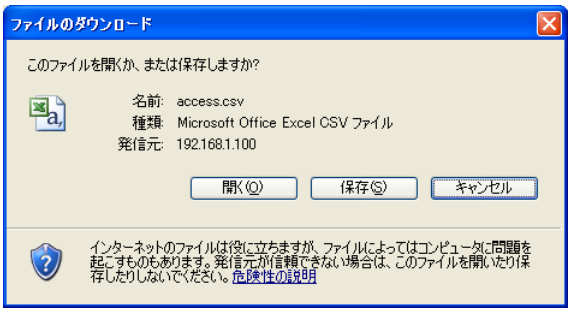
ログをPCに保存する

選択したログを PC のファイルに保存することができます。

画面上部のドロップダウンリストから、表示したいログの種別を選択して、保存 をクリックします。

確認のダイアログが表示されるので、OK をクリックしてください。

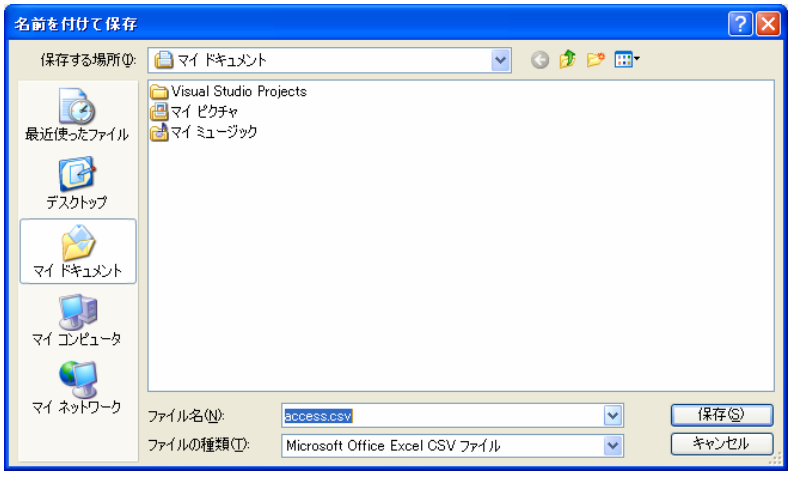
「ファイルのダウンロード」ダイアログが表示され場合は、保存(S) をクリックしてください。



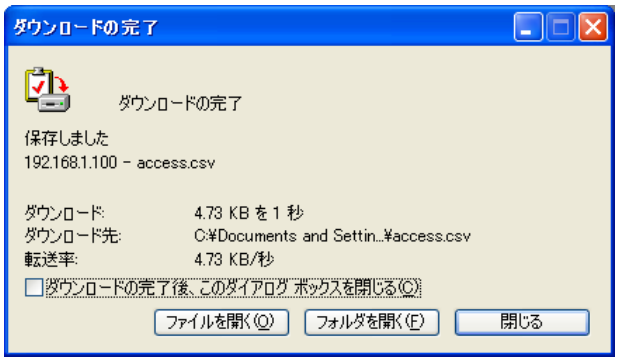
保存場所をたずねるダイアログが表示されるので、ログを保存するフォルダを選択して、保存(S) をクリックしてください。ログは、任意のフォルダに保存できます。

このダイアログでファイル名を変更することもできます。ファイル名に日付を付け加えると、管理しやすくなります。ログを保存するファイル名は、標準では以下のようになっています。

- アクセスログ　：　access.csv
- 制御ログ　：　control.csv
- アラームログ　：　alarm.csv
- エラーログ　：　error.csv



保存が完了すると、「ダウンロードの完了」ダイアログが表示されます。



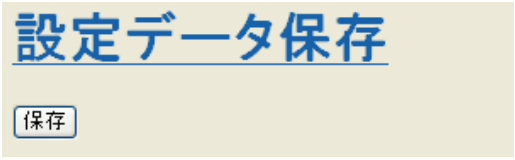
PCに保存したログの表示

ログは、CSV形式でファイルに書き込みます。WindowsにCSV形式のファイルを扱うことのできるアプリケーションソフト（Microsoft Excel、OpenOffice.orgなど）がインストールされていれば、保存したファイルをダブルクリックすることで表示できます。

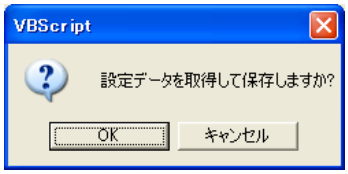
設定を PC に保存する

ネットワークカメラ／エンコーダに設定した情報をPCに保存することができます。複数のネットワークカメラ／エンコーダに同じような設定を施す場合や、設定をバックアップしておく場合に役立ちます。ファームウェアのバージョンアップを行う前などに、バックアップしておくことをお勧めします。

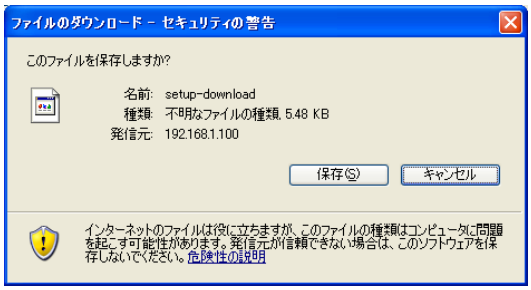
メンテナンスメニューの「設定データ保存」をクリックすると、設定データ保存画面が表示されるので、保存 をクリックします。



確認のダイアログが表示されるので、OK をクリックします。

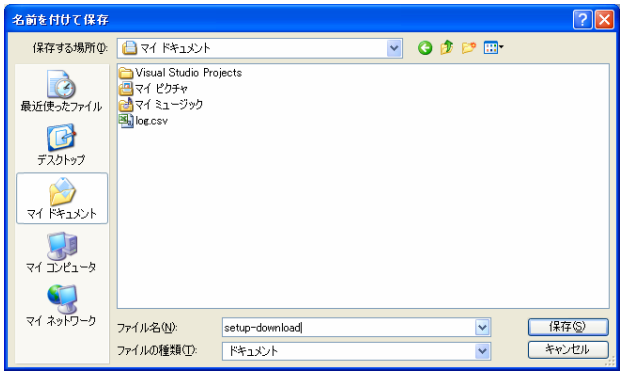


「ファイルのダウンロード － セキュリティの警告」というダイアログが表示された場合は、保存(S) をクリックしてください。

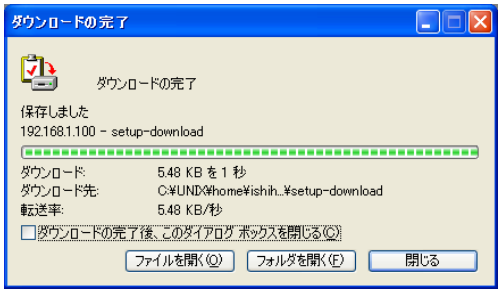


設定データを保存するフォルダを選択し、ファイル名を入力します。設定データは任意のフォルダに保存できます。ファイル名は初期状態では“setup-download”になっています。ファイル名に日付などを付け加えると、管理しやすくなります。

保存 をクリックすると設定データを指定したファイル名で保存します。



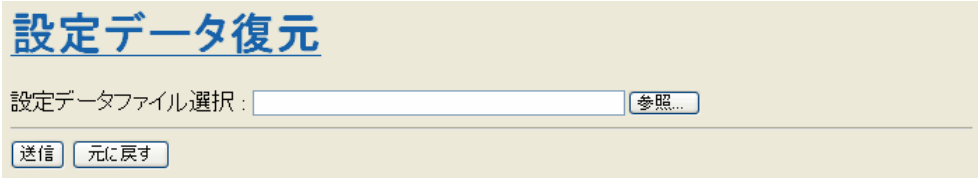
保存が完了すると、「ダウンロードの完了」ダイアログボックスが表示されます。
閉じる をクリックして終了です。



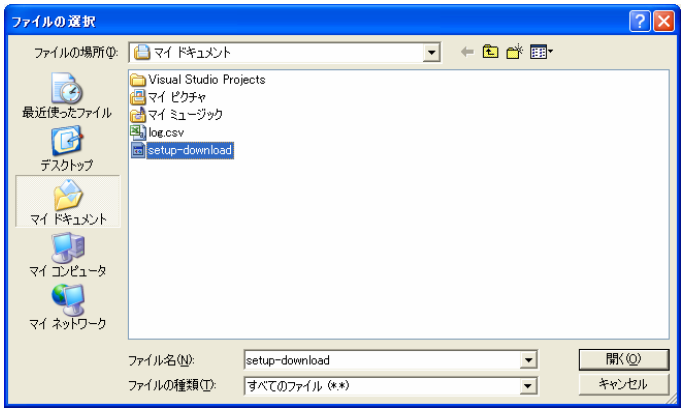
保存したファイルは、ネットワークカメラ／エンコーダ専用のデータです。
ファイルを開く(O) をクリックしても、PC では表示できません。

PC に保存した設定を復元する

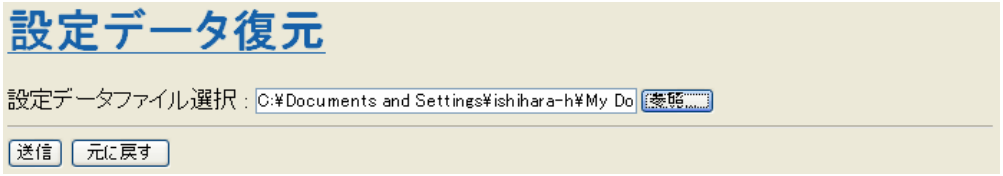
PC に保存した設定データをネットワークカメラ／エンコーダに送信して、設定を復元することができます。



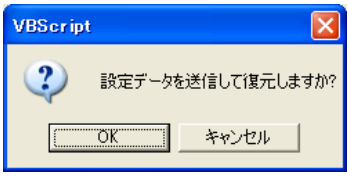
まず、復元したい設定データを選択します。画面右の 参照... をクリックすると、ファイルの選択ダイアログが表示されます。



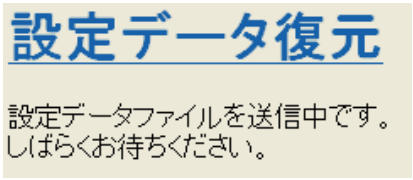
復元したい設定データのファイルを選択して、開(O)をクリックします。入力欄に選択したファイルの名前が表示されます。



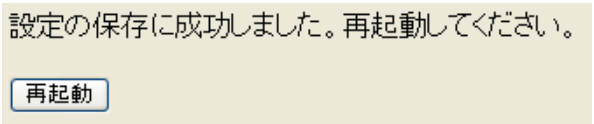
画面下の送信をクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。



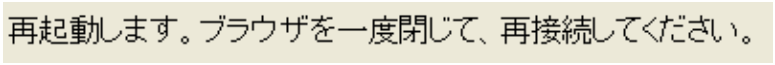
OKをクリックすると、画面が切り替わって、「設定データファイルを送信中です。しばらくお待ちください。」というメッセージが表示されます。



設定の復元が成功すると、「設定の保存に成功しました。再起動してください。」というメッセージが表示されます。再起動をクリックして再起動してください。

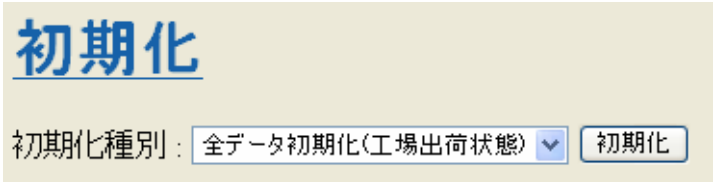


「再起動します。ブラウザを一度閉じて、再接続してください。」と表示されます。数秒～十数秒待つと起動しますので、ブラウザを開きなおして再接続してください。



データを初期化する

設定データを工場出荷時の値に戻したり、ログデータなどを消去できます。



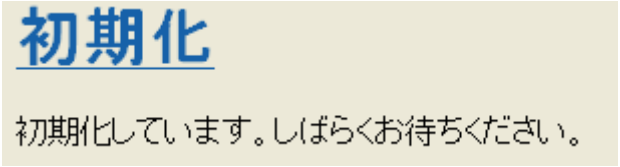
まず、ドロップダウンリストから、初期化種別を選択します。初期化種別には、次の 3 種類があります。

- 全データ初期化（工場出荷状態）： 設定データを初期化し、ログを消去します。
- 設定データ初期化 ： 設定データを工場出荷時の状態に戻します。
- ログデータ削除 ： ログを消去します。

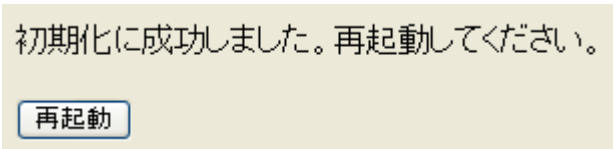
ただし、「全データ初期化」や「設定データ初期化」を行っても、時刻は初期化されません。

初期化 をクリックすると、確認のダイアログが表示されます。

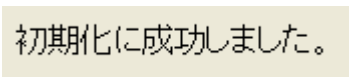
OK をクリックすると、画面が切り替わり、「初期化しています。しばらくお待ちください。」と表示されます。



初期化に成功すると、「初期化に成功しました。再起動してください。」と表示されます。
再起動 をクリックして、再起動してください。



初期化種別で“ログデータ削除”を選択した場合は再起動の必要が無いので、再起動 は表示されません。



ファームウェアをバージョンアップする

ネットワークカメラ／エンコーダのファームウェアを新しくして、不具合の修正などができます。

ファームウェアのバージョンアップに失敗すると、お使いのネットワークカメラ／エンコーダが動かなくなってしまう危険性があります。本説明書をよく読んで、十分に注意しながら行ってください。

もしもバージョンアップに失敗して、お使いのネットワークカメラ／エンコーダが動かなくなってしまった場合には、お手数ですが、ファームウェアの初期化（P. 71）をお試しください。ファームウェアを初期化すると、設定も初期化されてしまいます。バージョンアップ前に、設定データのバックアップ（P. 64）を取っておくことをお勧めします。

それでも動かなくなった場合は、販売店にご連絡ください。

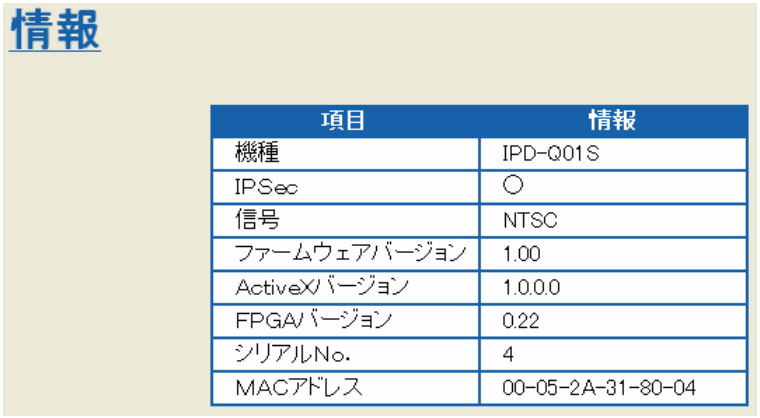
最新ファームウェアのダウンロード

まず、Ikegami の Web サイトから、最新のファームウェアをダウンロードします。Web ブラウザで

＜http://www.ikegami.co.jp/products/security/index.html＞

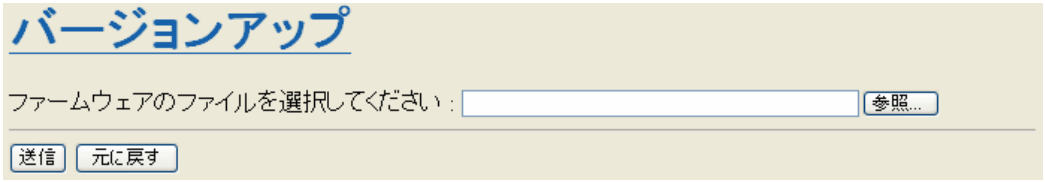
に接続して、対応する機種の最新のファームウェアをダウンロードしてください。

お使いのネットワークカメラ／エンコーダの機種、現在のファームウェアのバージョンは、情報画面（P.74）で確認できます。

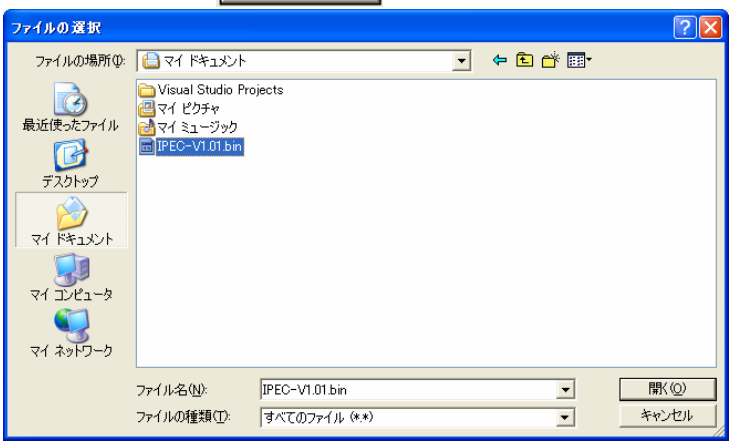


バージョンアップの流れ

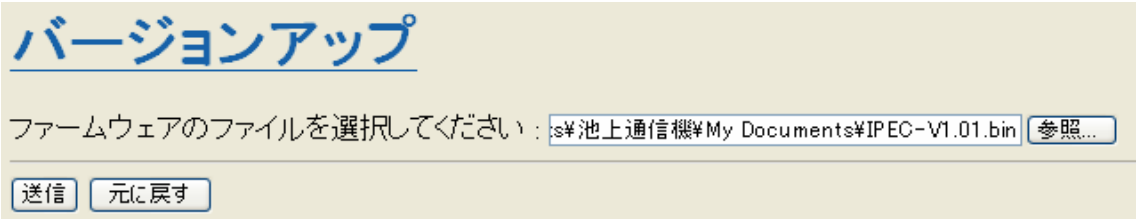
ファームウェアをダウンロードしたら、メンテナンスメニューのバージョンアップをクリックして、バージョンアップ画面を表示します。



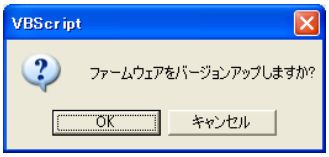
参照... をクリックすると、ファイルの選択ダイアログが表示されます。ダウンロードしたファームウェアを選択して、開く(O) をクリックしてください。



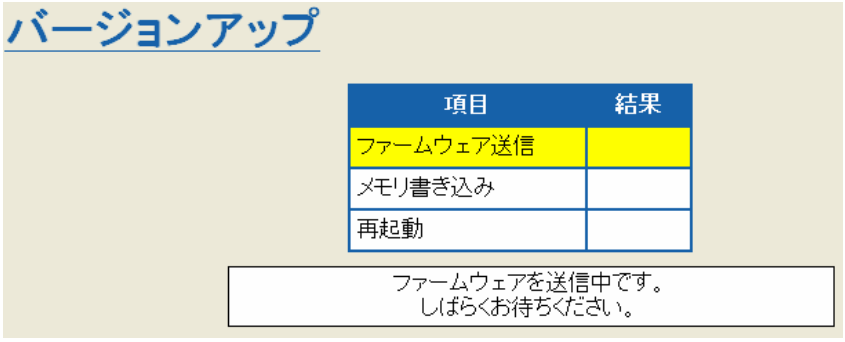
入力欄にファームウェアの場所が表示されます。送信 をクリックしてください。



確認のダイアログが表示されるので、OK をクリックしてください。

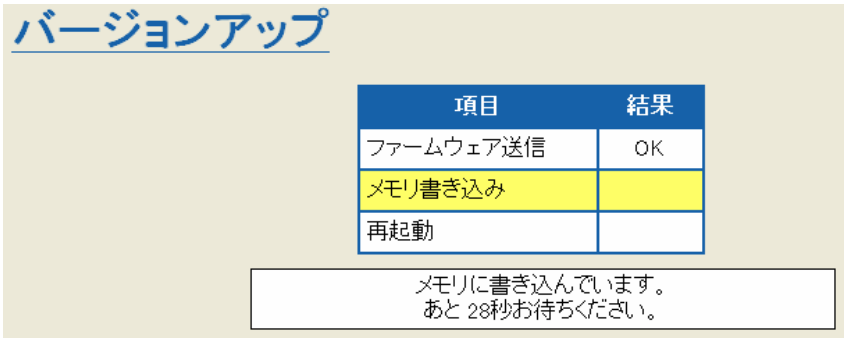


画面が切り替わり、バージョンアップの進行状況が表示されます。

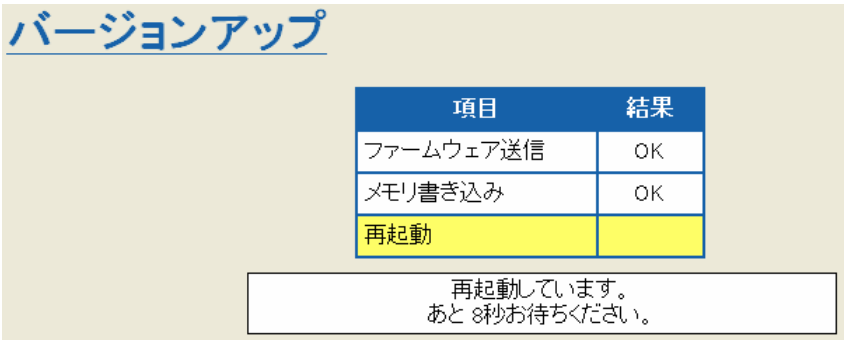


これ以降、バージョンアップ処理は自動的に進みます。しばらく時間がかかりますが、Web ブラウザを操作せず、そのままお待ちください。Web ブラウザを操作したり、閉じてしまった場合、バージョンアップに失敗してしまう可能性があります。

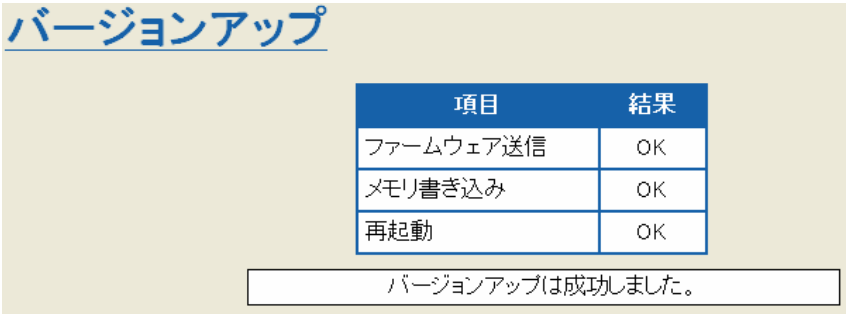
ファームウェアの送信が終了すると、ネットワークカメラ／エンコーダのメモリへの書き込みが始まります。メモリへの書き込みは、30 秒ほどかかります。その間、ブラウザを操作せずにお待ちください。



メモリへの書き込みが終了すると、ネットワークカメラ／エンコーダを再起動します。10 秒ほどかかりますので、その間、ブラウザを操作せずにお待ちください。



再起動して、新しいファームウェアでネットワークカメラ／エンコーダが動き出すと、「バージョンアップは成功しました。」と表示されます。



情報画面で、新しいファームウェアで動いていることを確認してください。

動かなくなってしまった場合

ファームウェアのバージョンアップに失敗して、動かなくなってしまった場合、お手数ですが、以下の操作を行ってください。

① ネットワークカメラ／エンコーダの電源を切る
② ネットワークカメラ／エンコーダの INIT スイッチを押しながら、電源を入れる
　INIT スイッチは 10 秒ほど押したままにしてください。成功すれば、ネットワークカメラ／エンコーダは初期化され、工場出荷状態のファームウェアで動き出します。
③ 設定データを復元する
　初期化すると、設定も工場出荷時の状態に戻ってしまいます。再設定するか、バージョンアップ前にバックアップしておいた設定データを「設定データの復元」（P.65）で復元してください。

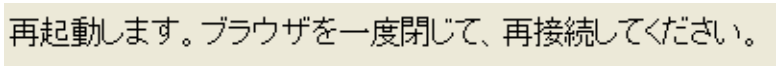
以上の操作をしても動作しない場合は、販売店にお問い合わせください。

再起動する

ネットワークカメラ／エンコーダを再起動することができます。

再起動をクリックすると、確認のダイアログが表示されます。OKをクリックしてください。

表示が切り替わって、再起動中のメッセージが表示されます。再起動には数秒～十数秒かかります。ブラウザを一度閉じて、再接続してください。



再起動した場合、ネットワークカメラ／エンコーダの内蔵メモリに記録された、アラーム映像（P.36）が消えてしまいます。また、動き検出設定（P.38）およびプライバシーマスク設定（P.55）を保存していない場合、設定が元に戻ってしまいます。

状態を表示する

ネットワークカメラ／エンコーダの現在の状態を表示できます。メンテナンスメニューの「ステータス」をクリックしてください。

ステータス

項目	情報
稼働日数	17 日
ビデオロス	ロスなし
映像配信数	0
音声配信数	0
音声出力	OFF
パラレル入力	OFF
パラレル出力	OFF
温度	+25 ℃

① 稼働日数

今までの総電源投入時間が日数で表示されます。

② ビデオロス

ビデオ信号が正しく入力されているかを表示します。

③ 画像配信数

現在、いくつのクライアント（ブラウザ、レコーダ）に映像を配信しているかを表示します。最大 10 クライアントまで配信できます。

④ 音声配信数

現在、いくつのクライアント（ブラウザ、レコーダ）に音声を配信しているかを表示します。最大 10 クライアントまで配信できます

⑤ 音声出力

現在、音声を出力しているかどうかを表示します。

⑥ パラレル入力

アラーム入力信号の状態を表示します。

⑦ パラレル出力

アラーム出力信号の状態を表示します。

⑧ 温度

機器メンテナンス時に使用します。

機種の情報を表示する

ネットワークカメラ／エンコーダの機種、ファームウェアのバージョン、MACアドレスなどを表示できます。メンテナンスメニューの「情報」をクリックしてください。

① 機種

型名を表示します。

② IPSec

機器内部情報です。

③ 信号

映像信号の種別です。

④ ファームウェアバージョン

インストールされているファームウェアのバージョンです。

⑤ ActiveX バージョン

映像表示ActiveXのバージョンです。

⑥ FPGA バージョン

FPGA 構成データのバージョンです。

⑦ シリアル No.

シリアル番号です。

⑧ MAC アドレス

割り当てられているMACアドレスです。

困ったときは？

ブラウザで接続できない

考えられる原因	対策
電源が入っていない	電源を投入します。 PoE を使用している場合は、PoE 対応の HUB と LAN ケーブルで接続します。
LAN ケーブルがはずれている	LAN ケーブルを接続してください。
ネットワークカメラ／エンコーダのネットワークの設定が間違っている	「ネットワークを設定する」（P.11）を参考に、ネットワークを正しく設定してください。
PC のネットワークの設定が間違っている	PC のネットワークを正しく設定してください。ルータを介さず、HUB で接続する場合は、ネットワークカメラ／エンコーダと同じネットワークアドレスになるように設定する必要があります。
URL が間違っている	http://IP アドレス/で接続できます。初期状態では、IP アドレスは“192.168.1.100”になっています。

ログオンできない

考えられる原因	対策
ユーザー名、パスワードが間違っている	正しいユーザー名、パスワードを入力してください。
ユーザー名、パスワードを忘れてしまった（「管理者」の場合）	初期状態では、「管理者」のユーザー名が“admin”、パスワードが“1”になっています。「操作者」は登録されていません。「管理者」のユーザー名、パスワードを変更していて、忘れてしまった場合は、「動かなくなってしまった場合」（P.71）を参考に、ファームウェアの初期化を行ってください。「管理者」のユーザー名、パスワードも初期状態に戻ります。
ユーザー名、パスワードを忘れてしまった（「操作者」の場合）	「管理者」の権限を持っている人に、ユーザー名とパスワードの再発行を頼んでください。

映像が止まっている

考えられる原因	対策
ネットワークの接続が一度切れた	停電などでネットワークカメラ／エンコーダの電源が再投入された場合や、回線の問題などで接続が切れてしまった場合は、ブラウザでの監視画面は停止してしまいます。その際は、お手数ですがブラウザを起動しなおす、再読み込みするなどして、接続しなおしてください。
ネットワークカメラ／エンコーダの電源が再投入された	
proxy を使っている	ネットワークカメラ／エンコーダの映像表示用 ActiveX は、proxy に対応しておりません。Internet Explorer の設定で proxy を使用しないようにして、接続してください。

動かない（LED が点滅しない）

考えられる原因	対策
ファームウェアや設定データが壊れた	「動かなくなってしまった場合」（P.71）を参考に、ファームウェアの初期化を行ってください。
機器が故障した	ファームウェアの初期化を行っても、動かない場合は、販売店にお問い合わせください。

映像が綺麗に表示されない

考えられる原因	対策
画質の設定が低い	「配信する映像を制御する」（P. 27）を参考に、画質の設定をあげてください。
システム設定で“フレーム”を選んでいる	「システム設定」（P.58）で“フレーム”を設定していると、動きがある映像のエッジがギザギザになってしまいます。P.25を参考に、“ジャギーレス”を使用してください。動きがある映像のエッジが滑らかになります。
低い解像度の映像を拡大している	P.24、P.27を参考に、解像度を“１／１”、倍率を“x1”にしてください。

「モード」で“設定”や“メンテナンス”が選択できない（表示されない）

考えられる原因	対策
「操作者」で接続している	設定を変更したり、メンテナンスするためには、「管理者」で接続する必要があります。

“PCS コントロール”や“ZPC コントロール”などが選択できない（表示されない）

考えられる原因	対策
ネットワークカメラを使用している	“PCSコントロール”や“ZPCコントロール”は、ネットワークエンコーダに弊社ズームパンチルトコントローラZPCシリーズや、弊社コンビネーションカメラPCSシリーズを接続し、「カメラ設定」（P.15）で接続カメラを“ZPC”か“PCS”に設定している場合にのみ表示されます。 ネットワークカメラを使用している場合や、ネットワークカメラに固定カメラを接続している場合には、表示されません。
ネットワークエンコーダに固定カメラを接続している	

PC に録画した映像が再生できない

考えられる原因	対策
録画した映像のファイルが壊れた、または削除した	録画した映像のファイルが壊れたり、一部を削除してしまうと、再生できなくなります。

ダウンロードしたアラーム映像を再生していると、ときどき映像が止まる

考えられる原因	対策
一括でダウンロードした複数のアラーム映像を再生している	複数のアラーム映像を一括でダウンロードすると、映像は一つのフォルダに格納されます。この映像を再生する場合、それぞれのアラーム映像の間で数秒間停止します。

用語集

ActiveX

ソフトウェアを部品化して、他のプログラムに埋め込んで使えるようにする、Microsoft 社の技術です。本取扱説明書では、ネットワークカメラ／エンコーダからの映像を表示するソフトウェア部品を ActiveX と表記しています。

AES (Automatic Electronic Shutter)

オート電子シャッタの略です。固体撮像素子の電子シャッタ機能により、入射光量に合わせて素子出力レベルを自動制御する機能です。
オートアイリス機能付きのレンズを使用している場合、AESは無効にしてください。

AGC (Automatic Gain Control)

増幅器の利得を自動的に調整し、出力レベルを一定に保つ動作です。

BMP 形式

Microsoft Windows で採用されている画像形式です。

CSV 形式

データを「,」で区切って表現する形式です。Microsoft Excel や OpenOffice.org Calc などで表示できます。テキストデータなので、メモ帳などのエディタでも表示できます。

DDNS

ダイナミック DNS の略です。機器に割り当てられる IP アドレスが可変である場合に、その機器のホスト名と IP アドレスを動的に対応付ける仕組みです。

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

コンピュータに IP アドレスやその他の設定情報を動的に割り当てる仕組みです。

DirectX

Microsoft Windows のマルチメディア処理ソフトウェア部品です。ネットワークカメラ／エンコーダの音声を再生するには、DirectX をインストールする必要があります。

DNS (Domain Name System)

ホスト名に対応する IP アドレスを取得したり，逆に IP アドレスに対応したホスト名を取得するための仕組みです.

■ **HTTP (Hyper Text Transfer Protocol)**

Internet Explorer や Mozilla Firefox などの Web ブラウザと Web サーバが通信するためのプロトコル(約束ごと)です。本ネットワークカメラ／エンコーダでは、HTTP によって映像を配信しています。

■ **HTTPS(Hyper Text Tansfer Protocol Secure)**

HTTPの通信をSSLで暗号化して行うプロトコル（約束ごと）です。

■ **IP アドレス**

TCP/IP ネットワーク上の機器を区別するために割り当てられるアドレスです。

■ **JPEG2000**

画像圧縮方式の一つです。従来の JPEG に比べ、ブロックノイズが発生しにくく、高圧縮でも高画質なことが特徴です。また、一つの画像から様々なサイズや画質の画像を取り出すことができます。

本ネットワークカメラ／エンコーダではこの機能を元に、複数の異なるサイズ、画質、フレームレートの映像を異なる機器に同時に配信する「スケーラブル配信」を実現しています。

■ **MAC アドレス**

ネットワーク上の機器を識別するため、割り当てられている、ハードウェア（ネットワークカードなど）固有のアドレスです。

■ **MTU(Maximum Transuction Unit)**

通信時に一度に送ることができるデータの最大バイト数です。

■ **NTSC**

主に日本やアメリカで使用されている映像信号です。

■ **NTP（Network Time Protocol）**

ネットワークに接続した機器の時刻を自動的に調節するためのプロトコル（約束ごと）です。

■ **PAL**

主にヨーロッパやアジア地域で使用されている映像信号です。

■ **POP3**

メールソフトがメールサーバからメールを受信するためのプロトコル（約束ごと）です。

■ **POP before SMTP**

SMTPでメールを送信する前に、POP3サーバにアクセスすることで、送信者が正規のユーザーかどうか認証する仕組みです。

■ **proxy**

LAN 内の端末の代理として外部へ接続するソフトウェアのことです。本ネットワークカメラ／エンコーダの映像表示 ActiveX は、proxy に対応していません。proxy を介さずに、直接、ネットワークカメラ／エンコーダに接続してください。

■ **RS-232C**

シリアル通信インターフェースの一つです。

■ **RS-485**

シリアル通信インターフェースの一つです。本ネットワークエンコーダには、弊社 I-LAN 対応機器と通信するために、RS-485 インターフェースが装備されています。

■ **SMTP (Simple Mail Transfer Protocol)**

メールソフト（またはメールサーバ）とメールサーバの間で電子メールを送信するためのプロトコル（約束ごと）です。

■ **SMTP-Auth**

SMTP でメールを送信するときに、送信者が正規のユーザーかどうか認証する仕組みです。POP before SMTP とは異なり、メールソフトとメールサーバ(SMTP サーバ)の間で直接認証します。

■ **SSL (Secure Socket Layer)**

TCP や UDP での通信を暗号化するプロトコル（約束ごと）です。現在、SSL 2.0、SSL 3.0 および 3.0 の後継の TLS(Transport Layer Security) 1.0 が存在します。SSL 2.0 は脆弱であるため、SSL 3.0 または TLS 1.0 で通信することをお勧めします。

■ **URL (Uniform Resource Locator)**

インターネット上で提供されている資源（情報）を特定するための文字列です。例えば、「http://～」や「ftp://～」などが URL です。

■ **インターレース**

映像を 1 行おきに飛び越して表示する方式です。

■ **オートアイリス**

レンズのアイリス（絞り）を自動的に制御する仕組みです。AES機能と併用しないように注意してください。

■ **グローバル IP アドレス**

インターネットに直接、接続することができる IP アドレスです。ISP（インターネットサービスプロバイダ）などから割り当ててもらう必要があります。

■ **ゲートウェイ**

異なるネットワーク同士を接続するコンピュータまたはネットワーク機器です。

■ **サーバ**

ネットワークで何らかのサービスを提供しているソフトウェアのことです。また、サーバソフトウェアが動作しているコンピュータもサーバと呼びます。

■ **サブネットマスク**

IP アドレスをネットワーク部（ネットワークアドレス）とホスト部に分けるために使用する数値です。サブネットマスクを正しく設定していないと、IP アドレスが正しく設定されていても、正常に接続できません。

■ **ネットワークアドレス**

異なるネットワークを区別するためのアドレスです。ネットワークアドレスの異なる機器同士は通信するためには、ゲートウェイやルータを介する必要があります。。

■ **ファームウェア**

機器を制御するソフトウェアです。

■ **フリッカレス**

照明の点灯周波数と、カメラの垂直周波数との差により発生する画面のちらつき（フリッカー）を補正する機能です。電源の周波数(50Hz)とカメラの垂直周波数(60Hz)が異なる東日本で有効です。

■ **プライベート IP アドレス**

LAN 内部で自由に使える IP アドレスです。10.0.0.0～10.255.255.255、172.16.0.0～172.31.255.255、192.168.0.0～192.168.255.255 の 3 種類の範囲が使えます。ただし、プライベート IP アドレスを使って直接、インターネットに接続することはできません。

■ **ポートフォワード**

ルータが受け取った通信データを LAN 内のほかのコンピュータに転送する仕組みです。IP フォワードとも呼びます。

■ 逆光補正

逆光撮影したとき、オートアイリス機能などが画面の明るい部分に反応し、アイリスなどが絞られて被写体が暗くなる現象を補正する機能です。

■ 電子感度アップ

撮像デバイスの蓄積時間を通常より長くしたり、映像信号をフレームまたはフィールド単位で画像メモリ上に加算し、高感度化を図る機能です。

索引

A

ActiveX....74
ActiveX バージョン....74
AES....16
AGC....16

B

BMP 形式....48

C

CSV 形式....63

D

DDNS....19
DHCP....11
DNS サーバ....12
DNS サーバ取得....11

F

FPGA バージョン....74

I

IPSec....74
IPv4 設定....11
IPv4 ネットワーク設定....11
IP アドレス....11

J

JPEG2000....49

M

MAC アドレス....74
MTU....12

N

NTP サーバ....54
NTP 設定....54
NTSC....27

P

PAL....27
PCS コントロール....30
PCS ファンクション....31
POP before SMTP....44
proxy....19

R

RS－232C....59
RS－485....59

S

SMTP....44
SMTP-Auth....44

U

URL....5

Z

ZPC コントロール....28

あ

アラーム映像....42
アラーム映像を PC にダウンロード....45
アラーム設定....35
アラームデータ配信....28

い

インターレース....58

う

動き検出設定....38
動き検出枠....42

お

オート B/W....32
オートアイリス....16
オートパン(PCS)....30

オートパン(ZPC).....28
音声配信数.....73
音声を聴く／送る.....26
温度.....73

か

解像度.....27
画質.....27
画像配信数.....73
カメラ設定.....15
監視.....22
管理者の登録.....13

き

機種.....74
逆光補正(PCS ファンクション).....32
逆光補正(ネットワークカメラ).....16
記録.....28
記録時間.....46

く

グローバル IP アドレス.....21

け

ゲートウェイ.....11

さ

再起動.....10
最小サイズ設定.....41
再生.....49
サブネットマスク.....11

し

時刻.....12
システム設定.....58
自動アラーム記録.....25
ジャギーレス.....25
写真.....48
手動記録時間.....25
情報.....74
情報表示.....25
照明(PCS).....31
照明(ZPC).....29
初期化.....67
シリアル No.....74
信号.....74

す

ズーム.....25
ズーム(PCS).....30
ズーム(ZPC).....29
ステータス.....73
ストップビット.....59
スナップショット.....28

せ

設置.....17
設定データ復元.....65
設定データ保存.....64

そ

操作者を登録.....14
送信メール設定.....44

た

タイムゾーン.....54

ち

注意表示.....25

つ

通信設定.....59

て

データ長.....59
電子感度アップ.....32

と

動作時間(PCS ファンクション).....32
動作時間(ZPC).....29

は

バージョンアップ.....69
バージョンアップに失敗.....71
パラレル出力.....73

パラレル入力 73
パリティ 59
パンーチルト(PCS) 30
パンーチルト(ZPC) 28
パンーチルトスピード(PCS) 31

ひ

ビデオロス 73

ふ

ファームウェア 74
ファームウェアバージョン 74
ファームウェアをバージョンアップ 68
フィールド 58
フォーカス(PCS) 31
フォーカス(ZPC) 29
プライバシーマスク 55
プライベート IP アドレス 19
プリアラーム 27
プリセット 31
フリッカレス(PCS ファンクション) 31
フリッカレス(ネットワークカメラ) 16
フレームレート 27

ほ

ポート番号 12
ポートフォワード 19
ホームポジション 25
ボーレート 59
ホワイトバランス 32

ま

マスク 40
マスク範囲の設定 57

め

メールの設定 43
メンテナンス 60

も

モニタ 22

れ

レコーダ登録 53
レンズスピード(PCS) 31

ろ

録画 45
録画場所 48
ログ取得 61

わ

ワイドダイナミックレンジ 32
ワイパ(PCS) 30
ワイパ(ZPC) 29

仕様

ネットワークカメラ IPD-Q01

(1)	撮像素子	1/3 インチ　IT-CCD 有効画素数 768(H)×494(V)，約 38 万画素 カラーフィルタ　色差線順次方式
(2)	走査方式	2：1 インタレース　NTSC 方式準拠
(3)	垂直周波数	59.94Hz
(4)	水平周波数	15.734KHz
(5)	同期方式	内部同期　Crystal-lock
(6)	映像出力	VBS 1.0Vp-p/75Ω
(7)	S／N 比	48dB(p-p/rms)以上 (輝度信号，標準照度，DETAIL OFF，Weight ON にて)
(8)	最低被写体照度	1.0Lx/FL4（光源色温度 3100K，被写体反射率 89.9%）
(9)	AGC	ON／OFF 切替
(10)	ホワイトバランス	自動追従型オートホワイトバランス
(11)	逆光補正(BLC)	ON／OFF 切替
(12)	AES	ON／OFF 切替 (電源周波数とカメラ垂直周波数が異なる地域は使用不可) AES レンジ　約 1：1600
(13)	電子シャッタ	ON／OFF 切替 シャッタスピード　1/100
(14)	オートアイリス機能	VIDEO アイリス／DC アイリス切替
(15)	カメラ ID 機能	付き(1 行，16 文字：アナログ出力のみ)
(16)	ﾘﾓｰﾄｾｯﾄｱｯﾌﾟ機能	可能(クライアント PC によるリモートコントロール)
(17)	レンズマウント	CS マウント(C マウントアダプタ取付可能)
(18)	ﾌﾗﾝｼﾞﾊﾞｯｸ調整機構	付き
(19)	画素サイズ	720×480，720×240 スケーラブル配信機能時 360×240(120)，180×120(60)
(20)	画像圧縮方式	JPEG2000
(21)	画質設定	5 段階
(22)	フレームレート	最大 30fps フレームレート制御：7 段階
(23)	音声	ADPCM　双方向 マイク入力：-60dbV　1kΩ　不平衡(プラグインパワー対応、DC8V) ライン出力：-10dbV　600Ω　不平衡 （回線の状態で途切れる場合あり）
(24)	ﾌﾟﾗｲﾊﾞｼｰﾏｽｸ機能	あり(マスク設定可)
(25)	ﾓｰｼｮﾝﾃﾞｨﾃｸｼｮﾝ機能	あり(マスク設定可)
(26)	画像記録機能	アラーム，プリアラーム(時間指定)
(27)	メール通知機能	あり(POP before SMTP／SMTP-AUTH 対応)
(28)	物理ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ	Ethernet (10Base-T／100Base-TX)
(29)	プロトコル	TCP/IP，SMTP，POP3，DHCP，HTTP，NTP
(30)	モニタリング	InternetExplorer 6.0
(31)	アラーム端子	入力：無電圧接点 出力：オープンコレクタ (MAX 24V 50mA)
(32)	電源	AC24V±10%，50/60Hz / DC12V (10.5V～15V) PoE(IEEE 802.3af)
(33)	消費電力	約 8.0W/AC24V，約 7.0W/DC12V
(34)	動作周囲温度／湿度	-10～+50℃／30～90%RH 以内。(但し、結露しないこと)

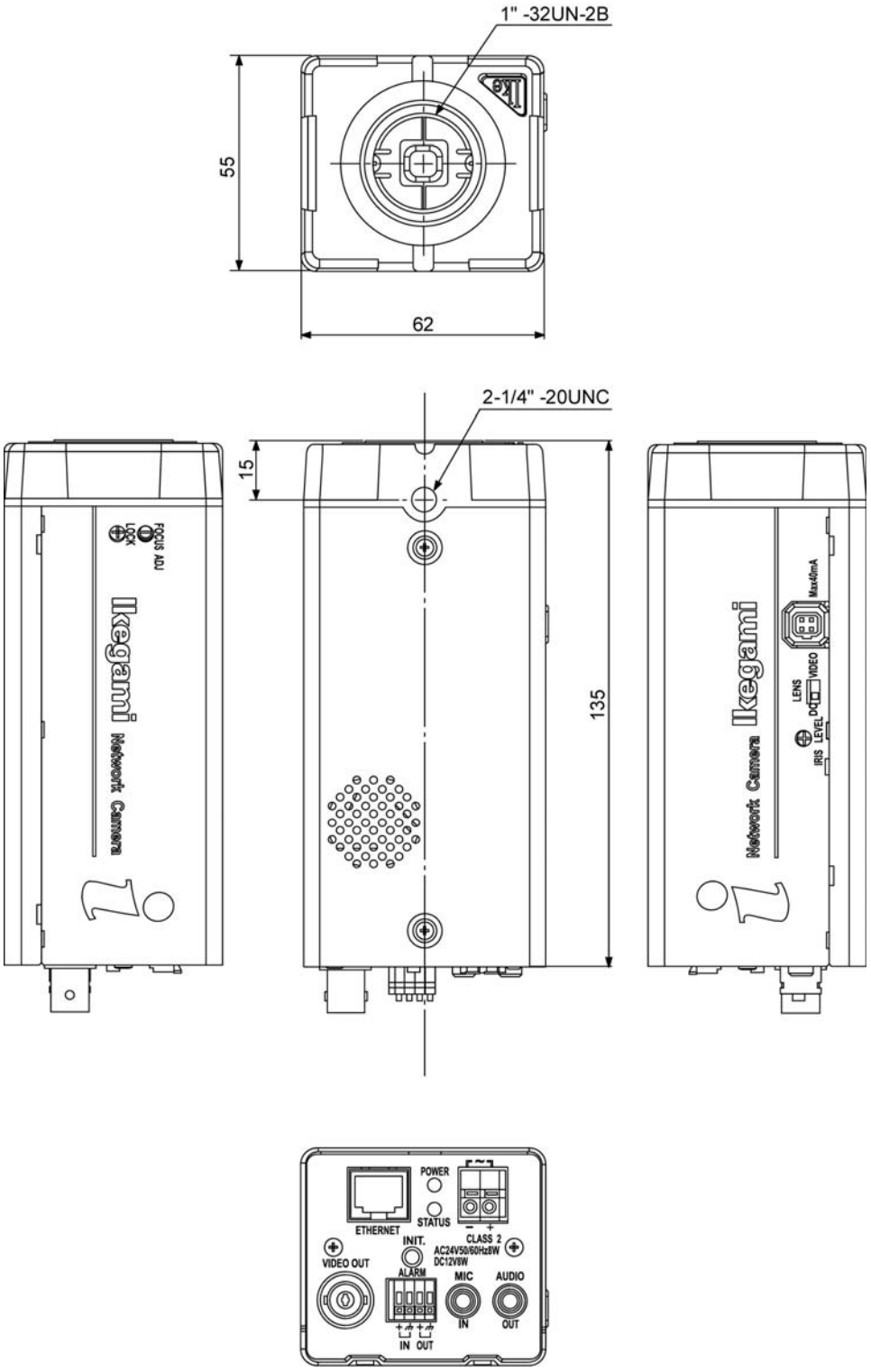
(35) カメラマウント	1/4″ -20UNC(上下各 1 個)	
(36) 外形寸法(W・H・D)	62(W)×55(H)×13.5(D)mm (突起物・付属物は含まない)	
(37) 質量	約 570g	
(38) 入出力コネクタ	・Ethernet	: RJ-45
	・VIDEO OUT	: BNC
	・MIC IN	: 3.5mm モノラルジャック プラグインパワー対応
	・AUDIO OUT	: 3.5mm モノラルミニジャック
	・LENS	: 4P (適合プラグ E4-191J-150 または同等品)
	・AC24V/DC12V	: 2P プッシュインターミナル(AC/DC 共通)
	・ALARM	: 4P プッシュインターミナル(IN/OUT 各 1)
(39) 付属品	取扱説明書	1 冊
	レンズコネクタ	1 個

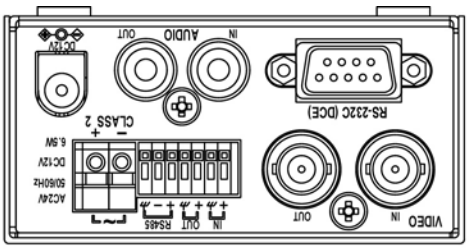
ネットワークエンコーダ IEN-T01

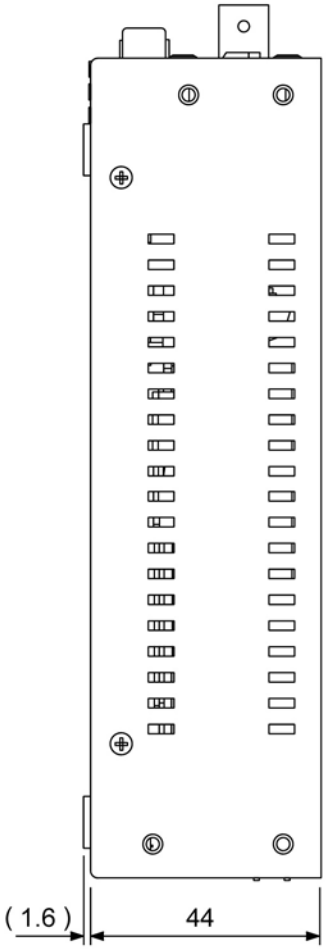
(1)	映像入力	コンポジット　1.0Bp-p／75Ω不平衡 自動終端ループスルー付 RS-170A 準拠（カラー）または RS-170 準拠（B/W）
(2)	画素サイズ	720×480, 720×240 スケーラブル配信機能時 360×240(120), 180×120(60)
(3)	画像圧縮方式	JPEG2000
(4)	画質設定	5 段階
(5)	フレームレート	最大 30fps フレームレート制御：7 段階
(6)	音声	ADPCM　双方向 ライン入力：-10dbV　10KΩ　不平衡 ライン出力：-10dbV　600Ω　不平衡 （回線の状態で途切れる場合あり）
(7)	ﾌﾟﾗｲﾊﾞｼｰﾏｽｸ機能	あり(マスク設定可)
(8)	ﾓｰｼｮﾝﾃﾞｨﾃｸｼｮﾝ機能	あり(マスク設定可)
(9)	画像記録機能	アラーム, プリアラーム(時間指定)
(10)	メール通知機能	あり(POP before SMTP／SMTP-AUTH 対応)
(11)	物理ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ	Ethernet (10Base-T／100Base-TX)
(12)	プロトコル	TCP/IP, SMTP, POP3, DHCP, HTTP, NTP
(13)	モニタリング	Internet Explorer 6.0
(14)	外部機器制御	RS-232C DCE, RS-485
(15)	アラーム端子	入力：無電圧接点 出力：オープンコレクタ (MAX 24V 50mA)
(16)	電源	AC24V±10%, 50/60Hz, DC12V (10.5V～15V) PoE(IEEE 802.3af)
(17)	消費電力	約 6.5W/AC24V, 約 5.5W/DC12V
(18)	動作周囲温度／湿度	-10～+50℃／30～90%RH 以内。(但し、結露しないこと)
(19)	外形寸法(W・H・D)	88(W)×44(H)×159(D) mm (突起物・付属物は含まない)
(20)	質量	約 570g
(21)	入出力コネクタ	・Ethernet　：RJ-45 ・VIDEO IN　：BNC (自動終端) ・VIDEO OUT　：BNC (ループスルー) ・AUDIO IN　：ピンジャック ・AUDIO OUT　：ピンジャック ・AC24V/DC12V　：2P プッシュインターミナル(AC/DC 共通) ・DC12V　：AC アダプタ用ジャック ・アラーム端子　：4P プッシュインターミナル(IN/OUT　各 1) ・RS-485　：3P プッシュインターミナル ・RS-232C　：9P D-SUB (オス)
(39)	付属品	取扱説明書　1 冊 AC アダプタ　1 個

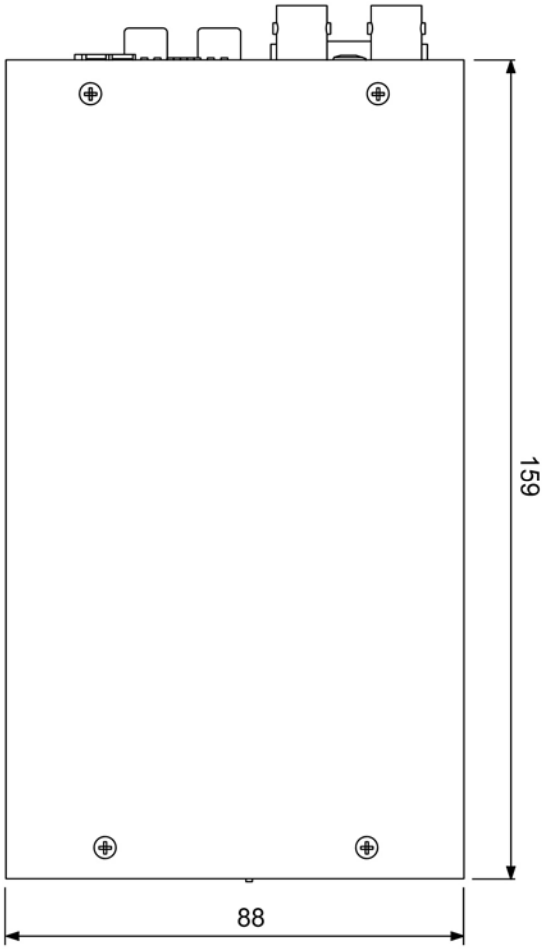
外観図

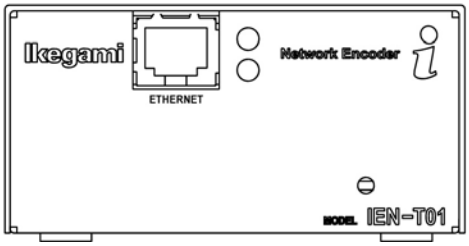
IPD-Q01


1" -32UN-2B
55
62
2-1/4" -20UNC
15
135
FOCUS ADJ
LOCK
Ikegami
Network Camera
Max40mA
VIDEO
LENS
LEVEL
IRIS
POWER
STATUS
ETHERNET
INIT.
CLASS 2
AC24V50/60Hz8W
DC12V8W
VIDEO OUT
ALARM
MIC
AUDIO
IN
OUT


DC12V
OUT
AUDIO
IN
CLASS 2
RS-232C (DCE)
6.5W
DC12V
50/60Hz
AC24V
RS485
OUT
IN
OUT
VIDEO
IN


(1.6)
44


159
88


Ikegami
ETHERNET
Network Encoder
MODEL IEN-T01

国内営業グループ	〒146-8567	東京都大田区池上 5-6-1	TEL：03-5748-2211（代）
札幌営業所	〒060-0051	北海道札幌市中央区南一条東 1-3 パークイースト札幌	TEL：011-231-8218（代）
仙台営業所	〒980-0011	宮城県仙台市青葉区上杉 1-5-15 日本生命勾当台南ビル	TEL：022-227-2066（代）
名古屋営業所	〒465-0051	愛知県名古屋市名東区社が丘 1-1506 加藤第 2 ビル	TEL：052-705-6521（代）
大阪支店	〒564-0052	大阪府吹田市広芝町 9-6 第 1 江坂池上ビル	TEL：06-6389-4466（代）
広島営業所	〒730-0017	広島県広島市中区鉄砲町 5-16 サンケイビル	TEL：082-223-3163（代）
福岡営業所	〒812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅東 3-1-1 ノーリツビル福岡	TEL：092-451-2521（代）

K38302